

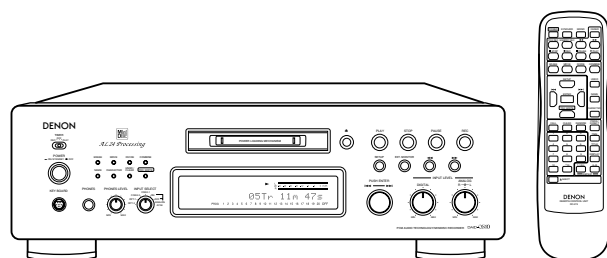
DENON

取扱説明書

DMD-S10

MiniDisc RECORDER

ミニディスクレコーダー



目次

はじめに	1 使用上のご注意 2 取り扱い上のご注意 3 本機の特長 4 付属品について	2 ~ 5 6 7 8
接続	5 接続のしかた	8、9
準備	6 各部の名前とはたらき 7 リモコンについて 8 ミニディスクについて	10 ~ 15 16 ~ 18 19、20
操作	9 セットアップのしかた 10 通常の再生のしかた 11 いろいろな再生のしかた 12 通常の録音のしかた 13 いろいろな録音のしかた 14 タイマー再生/録音のしかた 15 編集のしかた 16 ピックレック機能について 17 外部入力モニターのしかた 18 キーボードの接続と操作	21 ~ 26 27 28 ~ 32 33 ~ 35 36 ~ 38 39、40 40 ~ 48 49 ~ 51 52 53 ~ 55
その他	19 メッセージについて 20 ミニディスクの規格上の制約について 21 保証とサービスについて 22 故障かな？と思ったら 23 主な仕様	56 57 57 58 59

安全にお使いいただくために—必ずお守りください。

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

1 使用上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。



警告

■安全上お守りいただきたいこと

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。

お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。



電源プラグをコンセントから抜け

内部に異物を入れない

ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。



水が入ったり、濡らしたりしないように

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。

火災・感電の原因となります。



使用上のご注意（つづき）

⚠ 警告 つづき

■ 安全上お守りいただきたいこと

電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。



キャビネット（天板・裏ぶた）を外したり、改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



ACアウトレットのご使用は表示供給電力内で

接続する装置の消費電力の合計が表示供給電力を超えないようにしてください。火災の原因となります。

また供給電力内であっても、電源を入れたときに大電流の流れる機器（電熱器具・ヘアードライヤー・電磁調理器など）は接続しないでください。



雷が鳴り出したら

アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



乾電池は充電しない

電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。



落としたり、キャビネットを破損した場合は

まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



■ 取り扱いについて

風呂・シャワー室では使用しない

火災・感電の原因となります。



水場での使用禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



この機器の上に小さな金属物を置かない

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



使用上のご注意（つづき）

⚠ 注意

■安全上お守りいただきたいこと

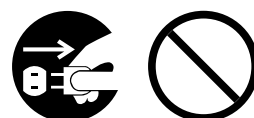
電源コードを熱器具に近づけない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜くときは

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



ディスク挿入口に手を入れない

特に幼いお子様にご注意ください。けがの原因となることがあります。

万一手を挟まれた場合は、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。



指を挟まれないよう注意

レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。



電池を交換する場合は

極性表示に注意し、表示通りに正しく入れてください。間違えますと電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。指定以外の電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器・スピーカーなどの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。



電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



■置き場所について

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- ・湿気やほこりの多いところ
- ・直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど高温になる場所



不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



使用上のご注意（つづき）

⚠ 注 意 つづき

■ 置き場所について

壁や他の機器から少し離して設置する

壁から少し離して据え付けてください。また放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



■ 取り扱いについて

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭ではご注意ください。
倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



移動させる場合は

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線・機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

この機器の上にテレビなどを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



■ 使わないときは

長時間の外出・旅行の場合は

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



■ お手入れについて

お手入れの際は

安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。
感電の原因となることがあります。



5年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうとより効果的です。

なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。



2 取り扱い上のご注意

結露現象について

■ 結露とは

冬期に暖房をした部屋の窓ガラスに水滴がつくような現象をいいます。

■ 結露が起こる条件は

冬期などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると本機内部の動作部に露がつき、正常に動作しなくなることがあります。

結露は、夏にエアコンの風が直接当たるところでも起こることがあります。その場合には本機の設置場所を変えてください。



■ 結露後の処置は

結露が起こった場合は、電源を入れてしばらく放置しておいてください。周囲の状況によって異なりますが、1～2時間で使用できるようになります。

設置の際のご注意

- 本機の上にテレビ（小型テレビを含む）や置きものなどを載せないでください。

テレビ放送の画面にしま模様が入る場合

- テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビ放送を見るとしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。テレビ放送を見る場合には本機の電源を切ってください。

FMやAM放送を受信している場合

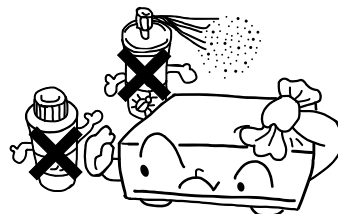
- FMやAM放送を受信しているとき、本機の電源が入っているとFMやAM放送の受信音に雑音が入る場合があります。本機を使用しないときは電源を切ってください。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れをふきとるときは、柔らかい布を使用して軽くふきとってください。

化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

- ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると変質したり変色することがありますので使用しないでください。



使わないときは

- ふだん使わないとき

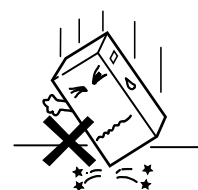
必ずミニディスクを取り出してから電源を切ってください。

外出やご旅行の場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



- 移動させるとき

衝撃を与えないでください。



必ずミニディスクを取り出し、接続コードを外したことを確認してからおこなってください。

ステレオ音のエチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。

隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。

ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で小さくも大きくもなります。

特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。

3 本機の特長

本機はミニディスクのフォーマットを採用したオーディオ機器で、最新のデジタル・テクノロジーを投入したDENON最高級ミニディスクレコーダーです。ミニディスクには最大74分（ステレオ録音）の録音ができ、操作性はコンパクトディスク（CD）と同様です。また、次世代メディアを見据え開発したアナログ波形再現技術AL24 Processingを録音・再生側に搭載し、更には、AL24 Processingの持つハイクオリティを最大限に活かし、D/A変換させるためにマルチ24bit D/Aコンバーターを採用しています。

1. デジタル/アナログ録音とも24bit処理

AL24 Processingは、従来のALPHA Processingの技術を継承し、より量子化歪みを低減させ、次世代メディアのハイビット化にもハイサンプリング化にも対応させ開発をおこなったアナログ波形再現技術です。

AL24 Processingは、入力されたデジタルデータを手がかりに、その音が自然界に存在したはずのアナログ波形に近づくようにデジタルデータの補間をおこない、24bitのクオリティで再現することにより音楽が静かに消えていく瞬間や、無音から始まる瞬間などの低レベル再生時の音楽再生能力を高めました。本機では、デジタル入力信号をAL24 Processingにより、24bitに拡張し録音をおこないます。また、アナログ入力信号についても、エンハンスド・デュアルビット方式を採用した24bit、128倍オーバーサンプリングA/Dコンバーターを採用しました。デジタル/アナログ入力ともに24bit処理をおこなうことで、微少レベルの録音でも忠実な録音を可能としています。

2. 高精度Multi-24bit D/A Converter搭載

再生側にもAL24 Processingを搭載、AL24 Processingにより得られた24bitのハイクオリティデータを忠実にD/A変換するため、マルチ24bit D/Aコンバーターを採用しています。マルチ24bit D/Aコンバーターは、電源電圧（電流）の変動による影響を受けにくく、また、帯域内量子化歪みレベルが周波数に無関係に一定していますので、ノイズの少ないクリアなサウンドの再生を聴くことができます。さらに、このD/Aコンバーターを片チャンネルあたり2個ずつ、差動で使用する4DAC構成とし、原理的にゼロクロス歪みの発生をなくす、 $\Delta\Sigma$ ともあいまって微少信号まで透明感があり、音楽のニュアンスまでも表現します。

3. 徹底した防振構造

メカユニットは、外部振動の影響を受けにくいセンターレイアウトにしました。15mm厚のフロントパネル、二重トップカバー、三重ボトムカバーで高い剛性を確保、振動吸収素材を貼り付けた焼結合金製の大型インシュレーターを採用、振動の発生源であるトランスは特殊ゴムでフローティングをおこない、外部、内部からの振動による音質への影響を徹底して防止しています。また、高剛性シャーシには銅メッキを採用、高周波ノイズの干渉も防止しています。

4. 使い易い編集ダイレクトキー、キーボード入力端子装備

曲を分ける、つなぐ、移動する、名前の入力などの編集操作を機能ごとにキーを配置しました。ワンキーダイレクトで編集モードに入り、編集操作の操作性を向上しました。さらに、別売りのIBM PC互換のキーボードの接続端子を装備しました。キーボードにより名前の入力だけでなく、本機をコントロールすることも可能です。

5. サンプリングレートコンバーター、デジタル録音レベル調整ボリューム搭載

CD、MDのサンプリング周波数（44.1kHz）と異なるDAT、CS/BS放送（32kHz、48kHz）などから直接デジタル入力録音が楽しめます。また、デジタル入力信号の録音レベル（音量）を調整でき、音量差を解消してレベルの揃ったミニディスクをつくることができます。

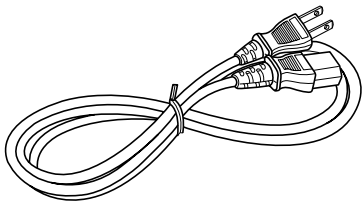
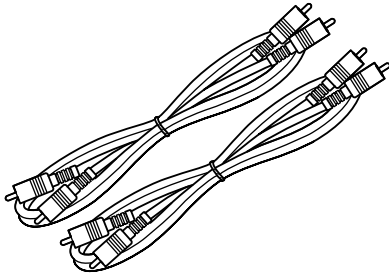
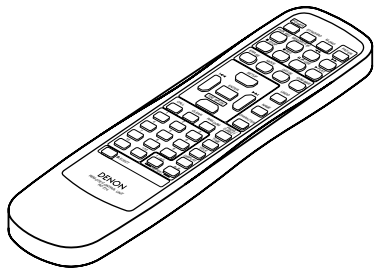
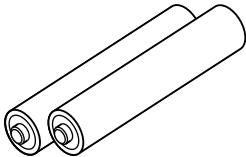
6. 豊富な入出力端子、外部モニター機能搭載

アナログ入出力端子はもちろん、CD、MD、DVD、CS/BS放送など増大するデジタルソースに対応し、光入力端子、同軸入力端子を各2系統、光出力端子、同軸出力端子を各1系統のデジタル入出力端子を備えています。

また、本機の高音質設計を活かし、D/Aコンバーターとして使用可能な外部モニター機能を装備しています。外部モニターは、サンプリング周波数96kHz、24bitの入力に対応しています。

4 付属品について

本体とは別に下記の付属品がついています。ご使用前にご確認ください。

電源コード 1本 	ピンプラグコード 2本 	取扱説明書（本書） 1冊 サービス網一覧表 1枚 保証書 （梱包箱に貼り付けられています）
リモコン（RC-274） 1個 	単3形乾電池 2本 	

ご注意

- ・本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので、実物とは異なる場合があります。

5 接続のしかた

ご注意

- ・すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- ・左右のチャンネルを確かめてから、正しくLとL、RとRを接続してください。
- ・電源プラグはしっかり差し込んでください。不完全な差し込みは雑音発生の原因になります。
- ・電源コードと接続コードを一緒に束ねると、ハムや雑音の原因になることがあります。
- ・一度電源プラグをコンセントから抜いた場合は、約5秒程度経ってからもう一度コンセントに差し込んでください。

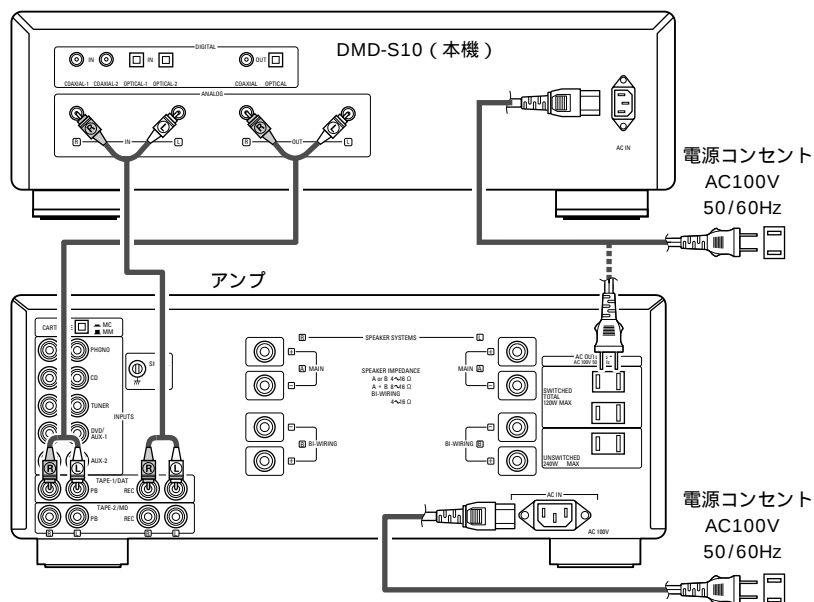
接続のしかた(つづき)

(1) アナログ入出力端子の接続

- アナログ入出力端子を接続する場合には、付属のピンプラグコードを使用してください。

本機のアナログ出力端子 (ANALOG OUT) とアンプの入力端子 (MD または TAPE) を接続します。

本機のアナログ入力端子 (ANALOG IN) とアンプの出力端子 (MD または TAPE) を接続します。

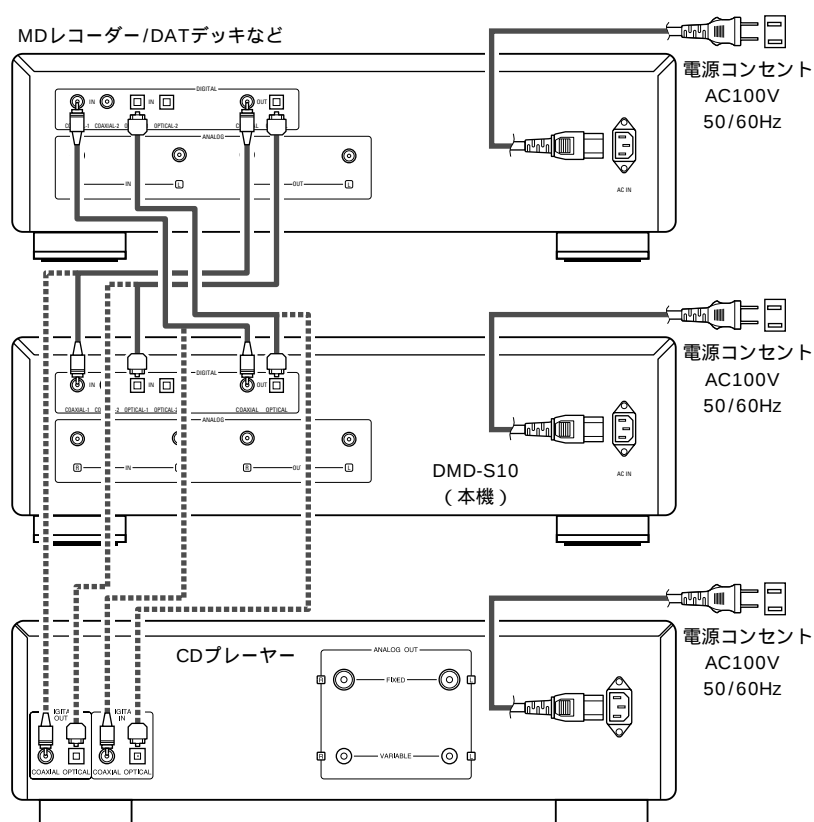


(2) デジタル入出力端子の接続

- デジタル入出力端子 (OPTICAL) を接続する場合には、市販の光ファイバーコードを使用してください。また、デジタル入出力端子 (COAXIAL) を接続する場合には、市販の75Ωのピンプラグコードを使用してください。

本機のデジタル出力端子 (DIGITAL OUT OPTICAL または COAXIAL) とMDレコーダー、DATデッキなどのデジタル入力端子 (OPTICAL または COAXIAL) を接続します。

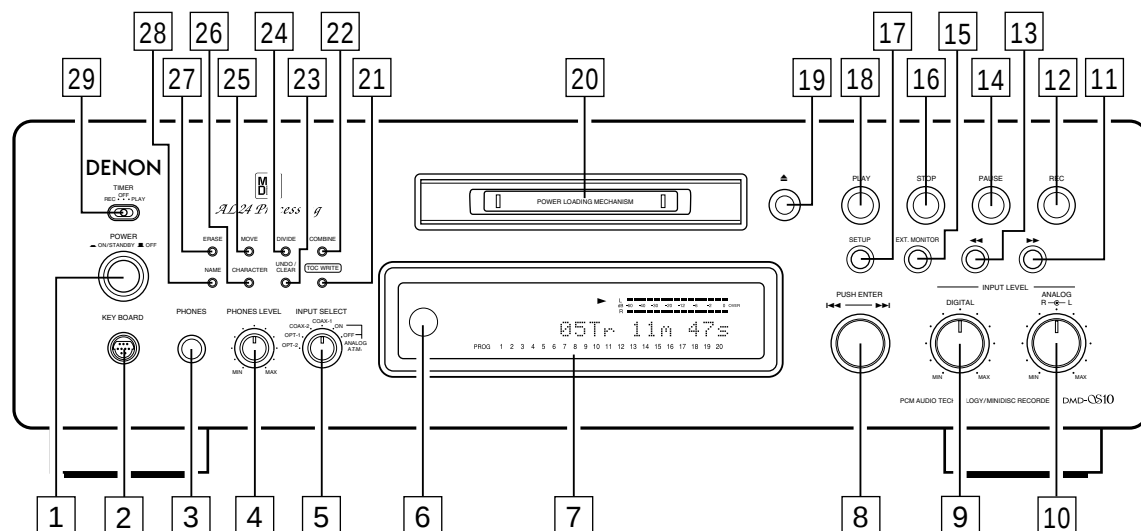
本機のデジタル入力端子 (DIGITAL IN OPTICAL または DIGITAL IN COAXIAL) とCDプレーヤー、MDレコーダー、DATデッキなどのデジタル出力端子 (OPTICAL または COAXIAL) を接続します。



(3) 電源コードの接続

- 本機に付属されている電源コードには極性が表示されています。お好みの音質となるよう電源コンセントに挿入してください。

(1) フロントパネル



1 電源ボタン (POWER)

- ・OFF (■) の状態からON (■) の状態にすると、電源が入ります。
- ・ON (■) の状態からOFF (■) の状態にすると、電源が切れます。
- ・ON (■) の状態のときには、リモコンの電源ボタン (POWER) でオン/スタンバイの状態に切り替えることができます。スタンバイ状態のときには、ディスプレイの“OFF”表示が点灯します。
- ・スタンバイ状態のときにミニディスクを差し込むと自動的に電源が入り、ミニディスクを引き込みます。また、ミニディスクが入っているときにプレイボタン (PLAY) またはイジェクトボタン (▲) を押しても自動的に電源が入り、その動作をおこないます。

ご注意

- ・本機は、電源ボタン (POWER) をOFF (■) の状態にしたときや電源プラグをコンセントから抜いたときでも、録音や編集した目次情報 (TOC) を記憶するためにバックアップ機能を有しています。
- ・バックアップ機能をご使用の際は、予め電源ボタン (POWER) を押して15分程度通電させてから使用してください。
- ・このバックアップ時間は2、3日となっていますので、録音や編集後はすぐにTOCの書き込みをおこなってください。バックアップが切れた場合は、録音や編集した内容が消去され回復できません。(19ページ参照)

2 キーボード入力端子 (KEY BOARD)

- ・別売りのIBM PC互換106キーボードを接続することによって、操作または文字入力することができます。(53～55ページ参照)

3 ヘッドホンジャック (PHONES)

- ・別売りのヘッドホンでお楽しみいただくときに使用します。

4 ヘッドホン音量つまみ (PHONES LEVEL)

- ・ヘッドホンの出力レベル (音量) を調節するときに使用します。

5 入力切り替えつまみ (INPUT SELECT)

- ・録音する入力ソースを切り替えるときに使用します。(33、34ページ参照)

録音中は切り替えることができません。録音一時停止中または停止中に切り替えてください。

6 リモコン受光部 (REMOTE SENSOR)

- ・付属のリモコン (RC-274) をこの受光部に向けて操作してください。

7 ディスプレイ

- ・14、15ページを参照してください。

8 ジョグダイヤル

- ・曲の頭出しや編集操作をおこなうときに使用します。
- ・タイトルを入力するときは、入力する文字を選択できます。
- ・押すと、セットアップモードの選択確定および

各部の名前とはたらき(つづき)

9 デジタル録音レベル調整つまみ (DIGITAL INPUT LEVEL)

- ・デジタル入力信号の録音レベル(音量)を調整するときに使用します。
- ・調整できる範囲は、 $-\infty \sim +12\text{dB}$ です。
(34ページ参照)

10 アナログ録音レベル調整つまみ (ANALOG INPUT LEVEL)

- ・アナログ入力信号の録音レベル(音量)を調整するときに使用します。
- ・両チャンネルの入力レベルを単独に調整することができます。(33ページ参照)

11 マニュアルサーチ・フォワードボタン (▶▶)

- ・再生を早送りするときに押します。
(29ページ参照)

12 録音ボタン(REC)

- ・録音するときに押します。
- ・録音ボタンのみを押すと、録音一時停止状態になります。
- ・録音一時停止状態のときにプレイボタン(PLAY)を押すと、録音をはじめます。

13 マニュアルサーチ・リバーズボタン (◀◀)

- ・再生を早戻しするときに押します。
(29ページ参照)

14 ポーズボタン(PAUSE)

- ・再生または録音を一時停止するときに押します。
- ・再び再生をはじめるとき、および録音一時停止状態から録音をはじめるときは、プレイボタン(PLAY)を押してください。

15 外部入力モニターボタン (EXT. MONITOR)

- ・ボタンを押すと、入力切り替えつまみ(INPUT SELECT)で選択した入力信号が本機の各出力端子でモニターできます。(52ページ参照)

16 ストップボタン(STOP)

- ・再生または録音を停止するとき、および編集操作を取り消すときに押します。

17 セットアップボタン(SETUP)

- ・シンクロ録音レベル、フェードイン/アウトの時間、メモリー録音時間などの設定・変更ができます。(21~26ページ参照)

18 プレイボタン(PLAY)

- ・ミニディスクの再生または録音をはじめるときに押します。
- ・録音中に押すと曲番が変わります。

19 イジェクトボタン(▲)

- ・ミニディスクを取り出すときに押します。

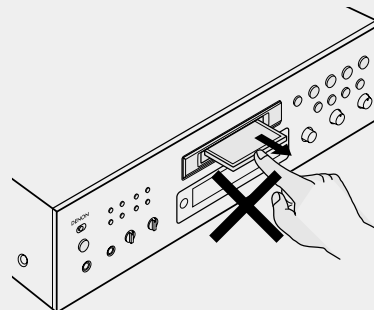
20 ディスク挿入口

- ・ミニディスクを差し込むと自動的に引き込みます。

ミニディスクは正しい方向に差し込んでください。機器の破損の原因となります。

ミニディスクを取り出すときのご注意

- ・イジェクトボタン(▲)を押した後、ミニディスクが出てくる途中でミニディスクを押し戻さないでください。
- ・再びミニディスクを入れるときは、出てくるミニディスクの動きが止まってから押し込んでください。



21 トックライトボタン(TOC WRITE)

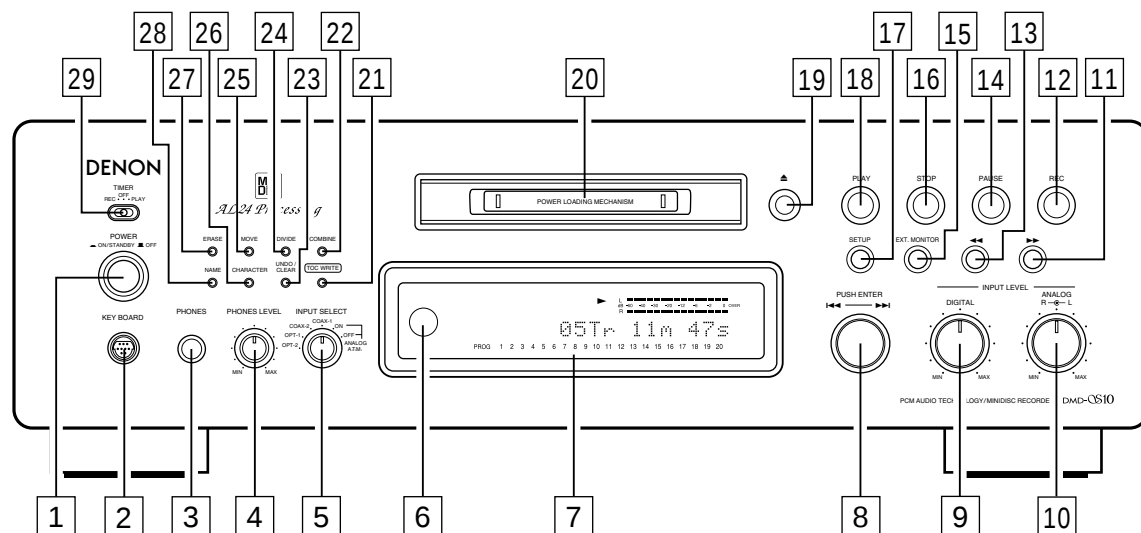
- ・停止中に押すと、目次情報(TOC)をミニディスクに書き込むことができます。(19ページ参照)
 - ・録音や編集をくり返しおこなうと、録音可能時間がミニディスクの最大録音時間より短くなることがあります。このときにボタンを押すと、目次情報(TOC)を整理して録音可能時間を増やすことができます。
- 使用するミニディスクによっては、録音可能時間が増えないことがあります。
- トックライトをおこなうと、『アンドゥ』はできなくなります。

22 コンバインボタン(COMBINE)

- ・連続した2つの曲をつないで1曲にすることができます。(43ページ参照)

各部の名前とはたらき (つづき)

(1) フロントパネル (つづき)



23 アンドゥ/クリアーボタン (UNDO/CLEAR)

- ・停止中に押すと、最後におこなった編集内容を取り消し、1つ前の編集内容に戻すことができます。(48ページ参照)
- ・プログラム選曲中に押すと、プログラムした曲を取り消すことができます。

24 ディバイドボタン (DIVIDE)

- ・録音した1つの曲を分割することができます。(43ページ参照)

25 ムーブボタン (MOVE)

- ・録音した曲を並び替えることができます。(44ページ参照)

26 キャラクターボタン (CHARACTER)

- ・タイトルを入力するときに、英字の大文字/小文字、特殊文字またはカタカナ文字に切り替えるときに押します。(45ページ参照)

27 イレースボタン (ERASE)

- ・曲、またはディスクやトラックのタイトルを消去できます。(41、42ページ参照)

28 ネームボタン (NAME)

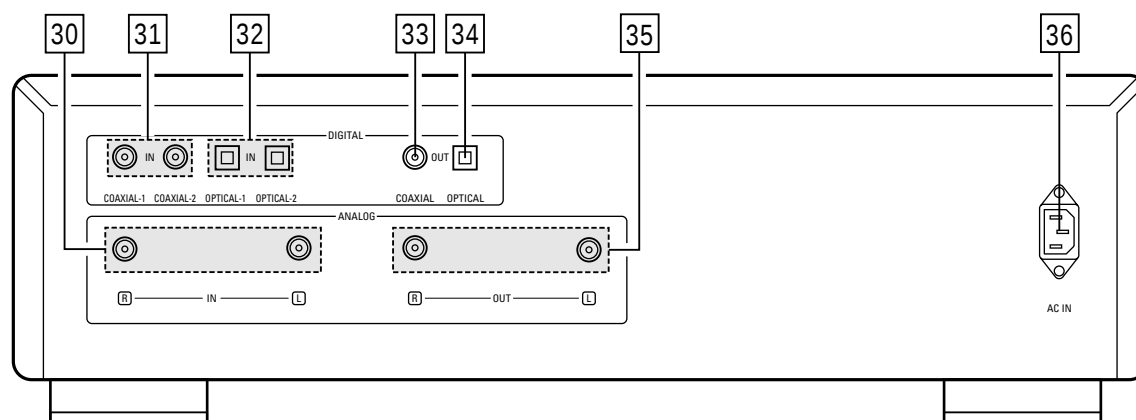
- ・ディスクやトラックのタイトルを入力できます。(45、46ページ参照)

29 タイマー切り替えスイッチ (TIMER)

- ・別売りのオーディオタイマーと組み合わせて、タイマー再生/録音をおこなうときに使用します。(39、40ページ参照)

各部の名前とはたらき (つづき)

(2) リアパネル



30 アナログ入力端子 (ANALOG IN)

- ・アンプの出力端子 (MDまたはTAPE) に接続します。
- ・アンプに接続した他の機器の音声を本機で録音することができます。この場合、入力切り替えつまみ (INPUT SELECT) を『ANALOG』に切り替えてください。

31 デジタル入力端子

(DIGITAL IN COAXIAL-1, 2)

- ・デジタルデータを入力します。
- ・CDプレーヤー、BS放送チューナー、CS放送チューナー、DATデッキまたは本機以外のMDレコーダーなどのデジタル出力端子 (COAXIAL) に接続すると、これらの機器からデジタルデータのまま録音することができます。2系統接続できますので、入力切り替えつまみ (INPUT SELECT) を『COAX-1』または『COAX-2』に切り替えてください。

32 デジタル入力端子

(DIGITAL IN OPTICAL-1, 2)

- ・デジタルデータを光で入力します。
- ・CDプレーヤー、BS放送チューナー、CS放送チューナー、DATデッキまたは本機以外のMDレコーダーなどのデジタル出力端子 (OPTICAL) に接続すると、これらの機器からデジタルデータのまま録音することができます。2系統接続できますので、入力切り替えつまみ (INPUT SELECT) を『OPT-1』または『OPT-2』に切り替えてください。

デジタルコピー禁止のソースはデジタルデータを録音できません。 (“ Copy Prohibit ” が表示されます。)

33 デジタル出力端子

(DIGITAL OUT COAXIAL)

- ・デジタルデータを出力します。
- ・本機は外部入力モニター中のサンプリング周波数96kHzを除き、再生・録音時などデジタル出力データのサンプリング周波数はすべて44.1kHzで出力します。
- ・本機以外のMDレコーダーまたはDATデッキなどのデジタル入力端子 (COAXIAL) に接続します。

34 デジタル出力端子

(DIGITAL OUT OPTICAL)

- ・デジタルデータを光で出力します。
- ・本機は外部入力モニター中のサンプリング周波数96kHzを除き、再生・録音時などデジタル出力データのサンプリング周波数はすべて44.1kHzで出力します。
- ・本機以外のMDレコーダーまたはDATデッキなどのデジタル入力端子 (OPTICAL) に接続します。

35 アナログ出力端子 (ANALOG OUT)

- ・アンプの入力端子 (MDまたはTAPE) に接続します。

36 電源入力コネクタ (AC IN)

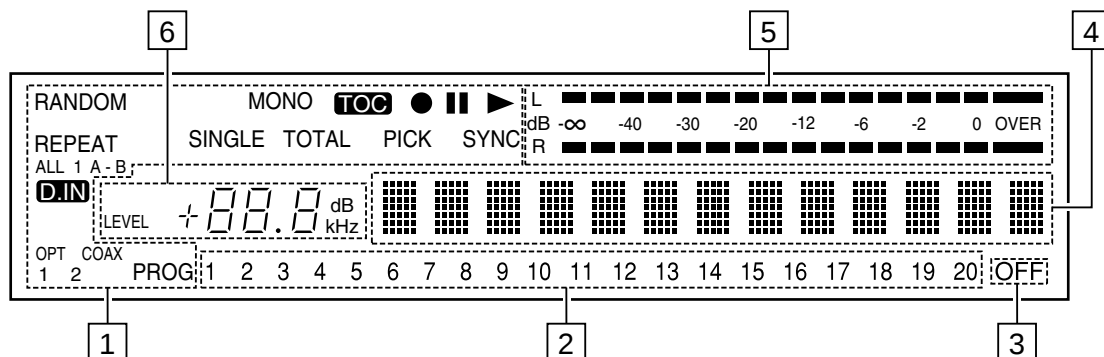
- ・付属の電源コードを接続します。
- ・付属の電源コード以外は使用しないでください。

ご注意

- ・電源入力コネクタのアース端子 (GND) は接続されておりません。

各部の名前とはたらき(つづき)

(3) ディスプレイ



1 各種モード表示部

・各種モードの状態が表示されます。

RANDOM :

ランダム再生のときに点灯します。

MONO :

録音モードがモノラル録音モードのときに点灯します。

TOC :

録音、消去およびタイトル入力などの編集操作がおこなわれ、ディスク内容が変更されているときに点灯します。

また、変更した内容を記録しているときに点滅します。点滅中は本機に振動を与えたり、本体の電源ボタン (POWER) を押したり、電源プラグをコンセントから抜かないください。録音内容が損なわれることがあります。

● :

録音中または録音一時停止中に点灯します。

■ :

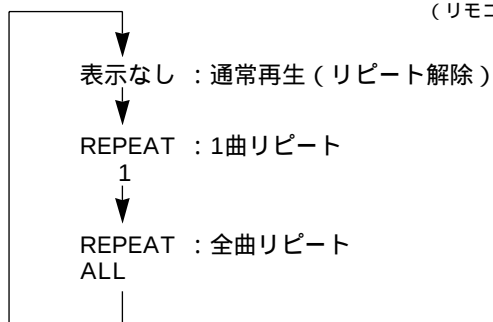
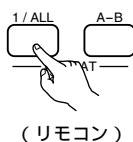
一時停止中に点灯します。また、一時停止中のマニュアルサーチ時には点滅します。

▶ :

再生中または録音中に点灯します。また、再生中のマニュアルサーチ時には点滅します。

REPEAT ALL,1 :

リモコンの1曲/全曲リピートボタンを押すたびに、次のように点灯します。

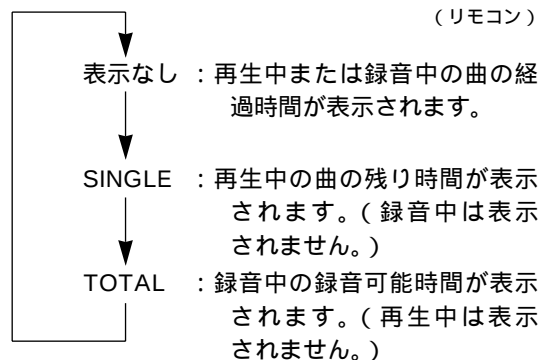


REPEAT A-B :

A-B間リピート再生のときに点灯します。

SINGLE,TOTAL :

リモコンのタイムボタンを押すたびに、次のように点灯します。



PICK :

ピクックモードのときに点灯します。演奏されている曲をピクックしている (録音している) ときには点滅、ピクックしていない (録音していない) ときには点灯します。

(49~51ページ参照)

SYNC :

録音モードがシンクロ録音モードのときに点灯します。(37ページ参照)

D.I.N :

デジタル入力を選択しているときに点灯します。録音動作中に点滅した場合は、デジタルデータが正常に入力されていないためです。このような場合は、デジタル入力端子の接続および接続した機器の動作などを確認してください。

OPT 1,2/COAX 1,2 :

デジタル入力の選択をしている場合、入力ソースを点灯します。アナログ入力を選択している場合、消灯します。

PROG :

プログラム選曲およびプログラム再生のときに点灯します。

各部の名前とはたらき（つづき）

2 ミュージックカレンダー表示部

- ・ミニディスクに収録されている曲番を最大20曲まで表示します。
- ・1曲再生が終了するたびに、その曲番が消灯します。
- ・録音時に曲番が切り替わると次の曲番が点灯します。
- ・プログラム時には、プログラムされた曲の曲番が表示されます。
- ・ミニディスクがないとき、またはミニディスクの情報が正しく読み取れなかったときは1～20が全点灯します。
- ・ピクニック時、選択した（録音する）曲の曲番が点灯します。

3 スタンバイ表示部

- ・スタンバイ状態のときに点灯します。

4 マルチ表示部

- ・曲数、曲番、再生時間、タイトル、各種動作内容、メッセージなどが表示されます。

5 レベルメーター表示部

- ・再生のときは再生レベル、録音のときは録音レベルが表示されます。

6 サンプリング周波数、シンクロレベル表示部

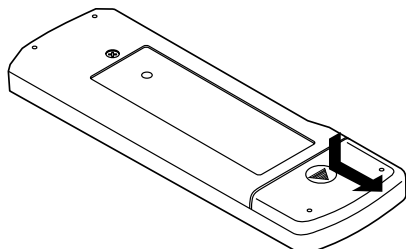
- ・デジタル入力録音をおこなうとき、デジタル入力信号のサンプリング周波数を表示します。

7 リモコンについて

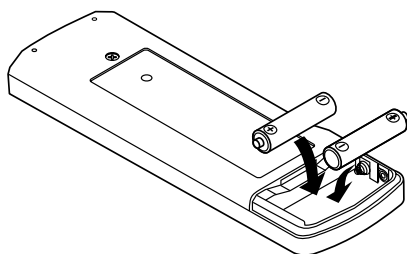
付属のリモコン（RC-274）を使用すると、離れたところから本機をコントロールすることができます。

（1）乾電池の入れかた

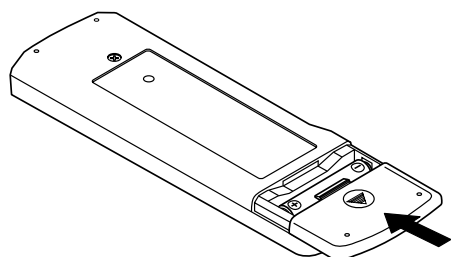
リモコンの裏ぶたを外してください。



単3形乾電池（2本）をそれぞれ乾電池収納部の表示通りに入れてください。



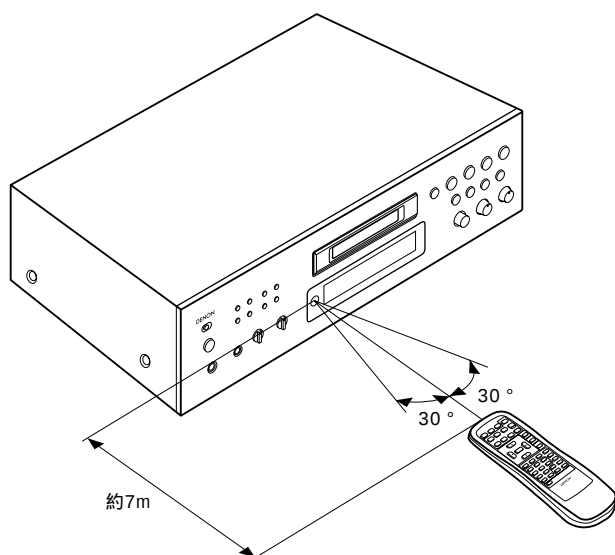
裏ぶたを元通りにしてください。



乾電池についてのご注意

- ・リモコンには単3形乾電池をご使用ください。
- ・リモコンの使用回数にもよりますが、乾電池は約1年毎に新しいものと交換してください。
- ・1年経っていてもリモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。
- ・新しい乾電池と交換するときは、リモコンに使用している乾電池を取り出し、約2分間経過してから新しい乾電池を入れてください。
- ・乾電池を入れるときは、リモコンの乾電池収納部の表示通りに⊕側・⊖側を合わせて正しく入れてください。
- ・破損・液漏れの恐れがありますので、
 - ・新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - ・違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・乾電池をショートさせたり、分解や加熱、または火に投入したりしないでください。
- ・リモコンを長時間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- ・万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れてください。

（2）リモコンの使いかた



- ・リモコンは、図のようにリモコン受光部に向けて使用してください。
- ・直線距離では約7m離れたところまで使用できますが、障害物があったり、リモコン受光部に向いていないと受信距離は短くなります。
- ・リモコン受光部を基準にして左右約30°までの範囲で操作できます。

ご注意

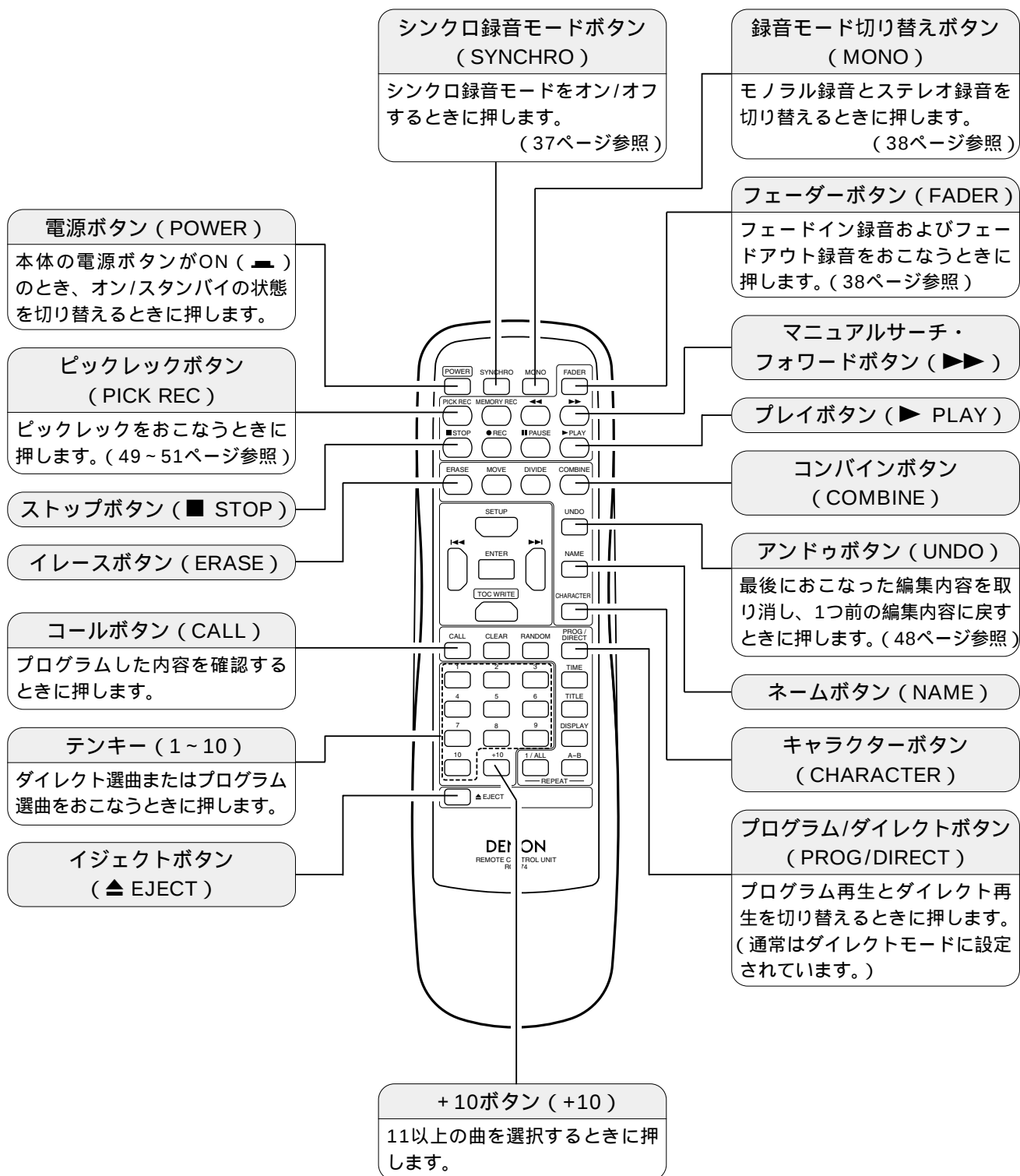
- ・リモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていたり、リモコン受光部との間に障害物があるとリモコンが動作しにくくなります。
- ・本機とリモコンの操作ボタンを同時に押さないでください。誤動作の原因になります。

リモコンについて(つづき)

(3) リモコンボタンの名前とはたらき

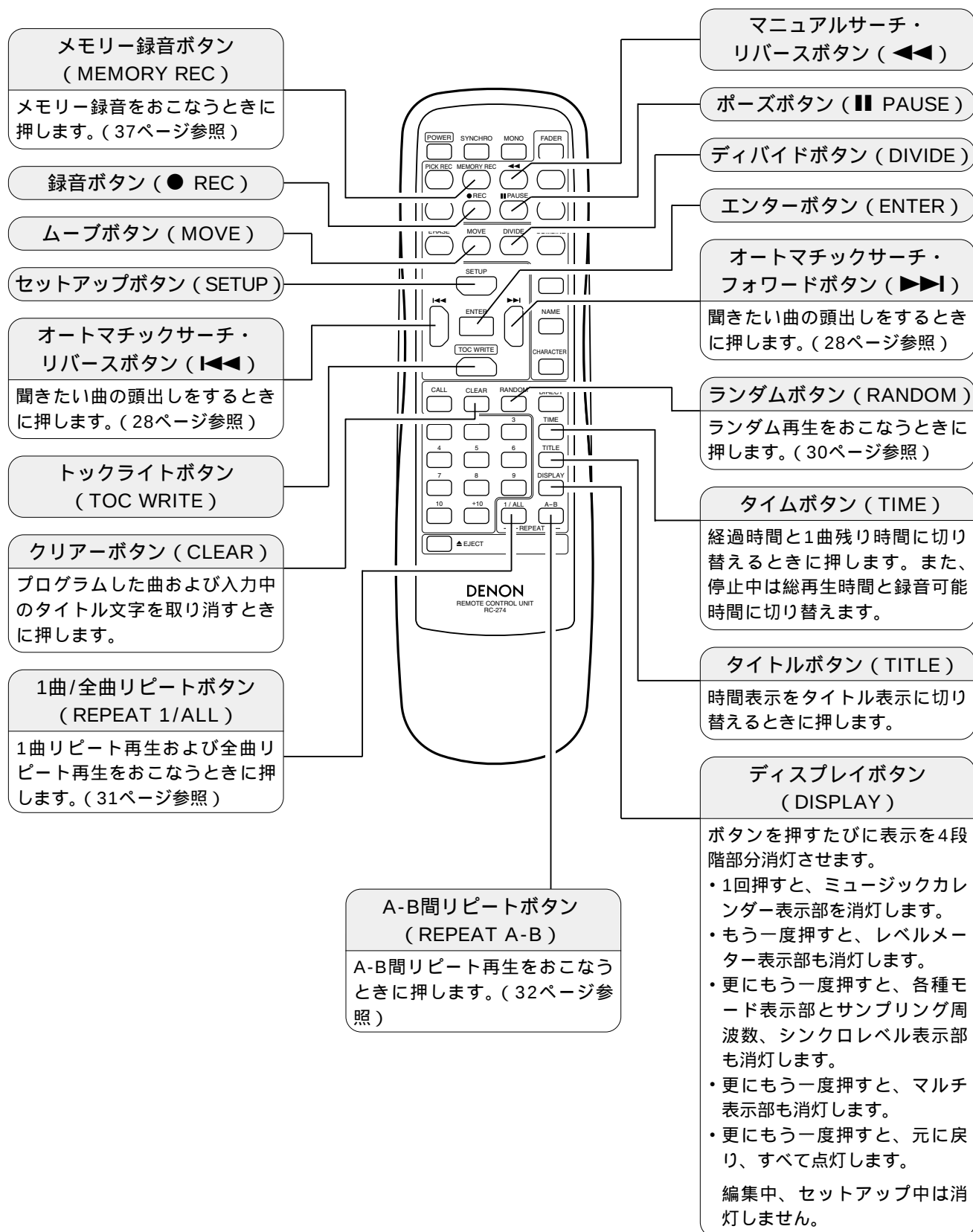
特に説明のないボタンは、本体と同じはたらきをします。

(10～15ページの「各部の名前とはたらき」を参照してください。)



リモコンについて(つづき)

(3) リモコンボタンの名前とはたらき(つづき)



ミニディスクはコンパクトなサイズで、最大74分の再生/録音ができます。

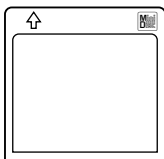
ミニディスクには、再生専用ミニディスクと録音用ミニディスクがあります。

本機で再生/録音できるミニディスクは右のマークがついているものです。



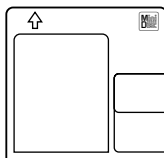
再生専用ミニディスク

- 再生のみが可能なミニディスクで、市販のミュージックMDソフトはこのタイプです。
- 再生専用ミニディスクはコンパクトディスク（CD）と同じ光ディスクです。
- 曲の編集などはおこなえません。



録音用ミニディスク

- 再生/録音が可能なミニディスクで光磁気ディスクを使用しており、磁界変調方式で録音をおこないます。
- 書き替えも可能です。



取り扱いについて

ミニディスクはカートリッジの中にディスクが収納されているため、汚れや傷を気にせず手軽に取り扱うようになっています。しかしカートリッジの汚れやソリなどが誤動作の原因になることもあります。次のことに注意してください。

ディスク面に直接触れないでください。

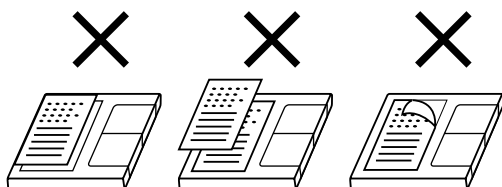
シャッターを手で開けないでください。

ホコリやチリ、湿気の多いところには置かないでください。

直射日光が当たるところなど温度の高いところには置かないでください。

カートリッジにラベルを貼り付けるときは、必ず次のことをお守りください。

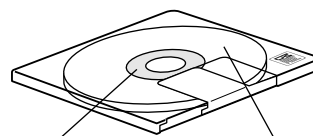
正しく貼り付けないと、ミニディスクが内部にしまって取り出せなくなることがあります。



- ラベルは指定の場所（エリア内）に正しく貼ってください。（指定エリア以外には貼り付けしないでください。）
- ラベルを重ねて貼り付けしないでください。
- ラベルがめくれたり、浮いたりしているときは、新しいラベルに貼り替えて使用してください。

ミニディスクの書き込みについて

ミニディスクには曲や音声を録音する部分と、曲番や曲名などの情報を記録する部分があります。



曲番や曲名などを記録する部分（TOC）

曲や音声を録音する部分

■ TOCとは

ミニディスクには曲や音声とともに曲番、曲名や録音場所など曲を認識するための目次情報（TOC：Table of Contents）が記録されます。再生するときはこのTOCを手がかりにします。また、曲の編集はTOCを書き替えることによっておこなわれます。

このTOCは、トックライトボタン（TOC WRITE）を押す操作と、録音や編集の後にイジェクトボタン（▲）を押してミニディスクを排出する操作と、リモコンの電源ボタン（POWER）を押して電源をスタンバイ状態にする操作をしたときにミニディスクに書き込まれます。

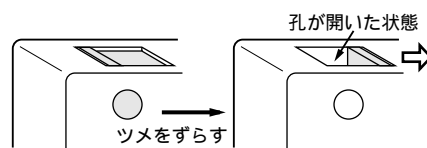
書き込みをはじめると“**TOC**”表示が点滅します。このとき本機に振動を与えたり、本体の電源ボタン（POWER）を押したり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。TOCが正しく書き込まれずに録音や編集した内容が損なわれたり、正しく記録されないことがあります。

誤録音/誤消去防止ツメについて

録音用ミニディスクには誤録音や誤消去を防止するためのツメがついています。

録音した内容を誤って消さないために、誤録音/誤消去防止ツメをずらして孔を開けた状態にしてください。（下図参照）この状態にすることで録音や消去などの編集ができなくなり、録音内容を保護することができます。

再び録音や消去などの編集をおこなう場合は、ツメを元に戻して孔を閉じてください。（下図参照）



お手入れについて

カートリッジの汚れやホコリなどは無理な力を加えないで乾いた布で拭き取ってください。

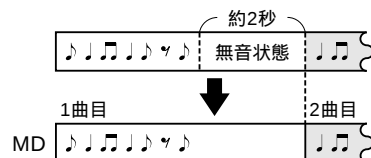
ミニディスクについて(つづき)

曲番について

ミニディスクに曲や音声を録音すると、自動的に曲番がつけられます。追加録音したときは順に曲番が上がります。

■ アナログ入力で録音するとき

入力切り替えつまみ (INPUT SELECT) を『ANALOG A.T.M. ON』に設定すると、約2秒以上の無音部分を検出して曲番を自動的につけます。(オートトラックインクリメント機能)



- ・無音部分とは、シンクロ録音レベルの設定値 (- 54dB ~ - 30dB) 以下のレベル部分です。(22ページ参照)
- ・信号に雑音があるときなど録音する内容によっては、正しい位置で曲番が切り替わらないことがあります。
- ・曲中の信号レベルが極めて低いときに、曲番が切り替わることがあります。このようなときには、録音が終わった後に編集操作をおこなってください。(43ページ参照)
- ・オートトラックインクリメント機能を使わずに一続きの曲として記録することもできます。(33ページ参照)

■ デジタル入力で録音するとき

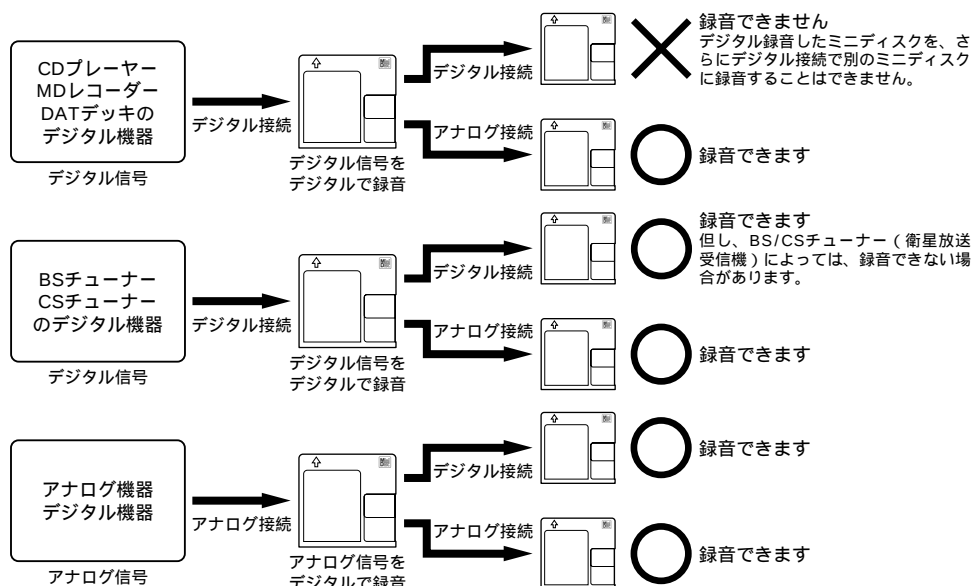
CDや他のミニディスクから録音するときには、元の曲番と同じ曲番が自動的につきます。



- ・CDや他のミニディスクから録音したときに、CDや他のミニディスクの曲番と録音したミニディスクの曲番が一致しないことがあります。
- ・BS/CSチューナー、DATデッキなどから録音するときには、アナログ入力で録音するときと同様にオートトラックインクリメント機能がはたらき、曲番が自動的につきます。
 - ・曲間の無音部分の雑音が大きいときには、曲番が正しく切り替わらないことがあります。
 - ・曲中の信号レベルが極めて低いときに、曲番が切り替わることがあります。
- ・BS/CSチューナー、DATデッキからの録音中、サンプリング周波数が切り替わると曲番が変わります。また、まれに雑音が入ることがあります。このようなときは録音が終わった後で編集操作をおこなってください。(41 ~ 43ページ参照)

デジタルコピーについて

デジタル入力でCDなどを録音したミニディスクをさらに別のミニディスクやDATデッキなどにデジタル録音 (コピー) することはできません。これは、SCMS (シリアルコピーマネージメントシステム) により定められた規格です。

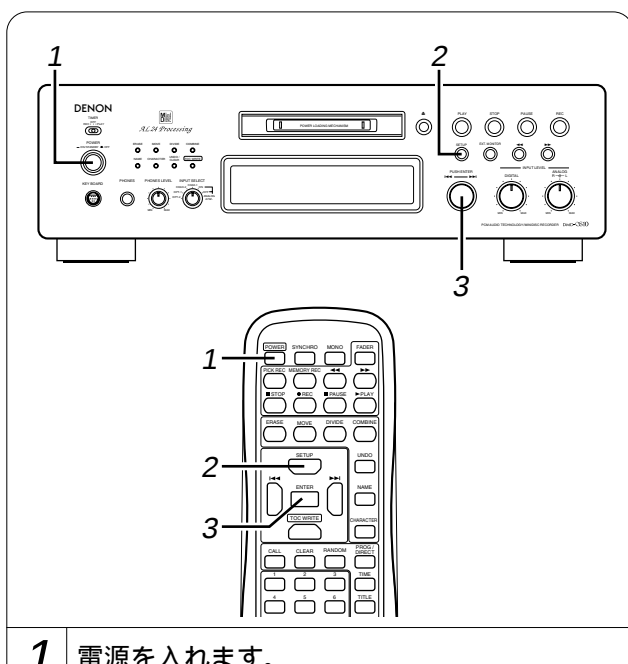


9 セットアップのしかた

本機では、セットアップメニューで下記10項目の設定ができます。各設定項目ごとに下記が表示されます。『セットアップ』は停止中におこなってください。本体の電源をOFF (■) にしても、設定された項目は記憶されています。

録音モード	“ Rec Mode? ”
シンクロ録音モード	“ Synchro Rec? ”
シンクロ録音レベル	“ Sync Rec Lev? ”
シンクロ・メモリー時間	“ S. Memo Time? ”
メモリー録音時間	“ Mem Rec Time? ”
フェードイン時間	“ Fadein Time? ”
フェードアウト時間	“ Fadeout Time? ”
デジタル入力語長	“ Dig. In Bit? ”
デジタル出力語長	“ Dig. Out Bit? ”
ピックレック	“ Pick Rec Go? ”

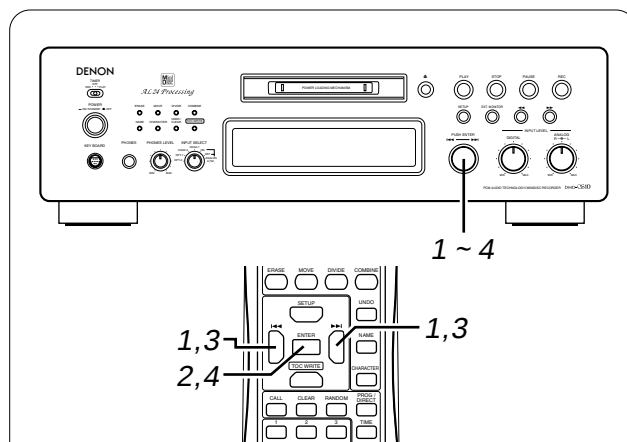
(1) セットアップのしかた



- 1 電源を入れます。
- 2 セットアップボタンを押します。
・ “ Setup Mode ” が表示されます。
- 3 本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押して、セットアップモードに入ります。

(2) 録音モードの設定

ステレオ録音、モノラル録音の切り替えをおこないます。
リモコンの録音モード切り替えボタン (MONO) で設定することもできます。



- 1 セットアップモードにし、本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して “ Rec Mode? ” を表示させます。
- 2 本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押して、録音モードの選択モードを確定します。
- 3 本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して、録音モードのステレオ/モノラルを選択します。
・ 選択されている録音モードが点滅します。また、モノラル録音モードを選択時には、モード表示部の “ MONO ” が点灯します。

- 4 本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押して、録音モードを確定します。
・ 選択した録音モードが表示されます。

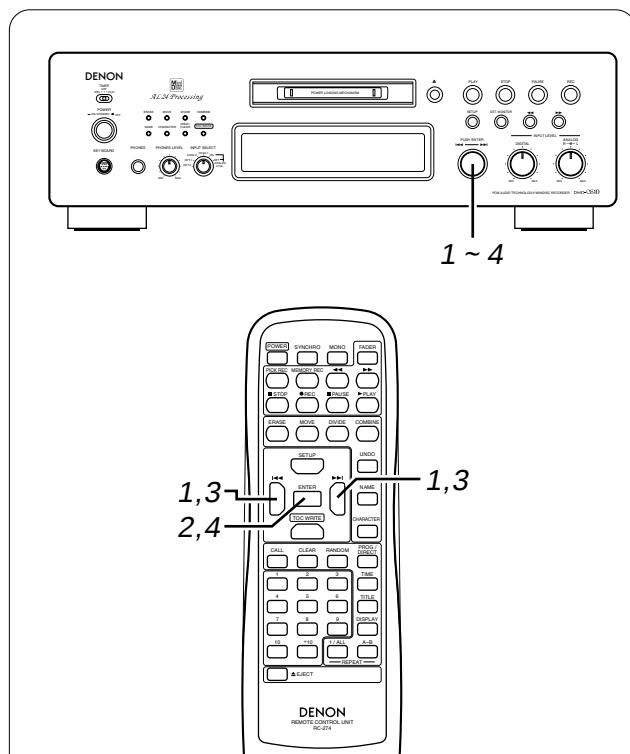
セットアップのしかた(つづき)

(3) シンクロ録音モードの設定

シンクロ録音のオン/オフの設定をおこないます。

(37ページ参照)

リモコンのシンクロ録音モードボタン (SYNCHRO) で設定することもできます。



1

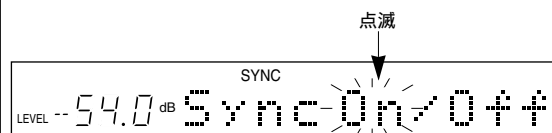
セットアップモードにし、本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して “Synchro Rec?” を表示させます。

2

本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押して、シンクロ録音の選択モードを確定します。

3

本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して、シンクロ録音のオン/オフを選択します。
・選択されているシンクロ録音モードが点滅します。また、シンクロ録音モード『オン』を選択時には、モード表示部の “SYNC” が点灯し、サンプリング周波数、シンクロレベル表示部にシンクロレベルが表示されます。



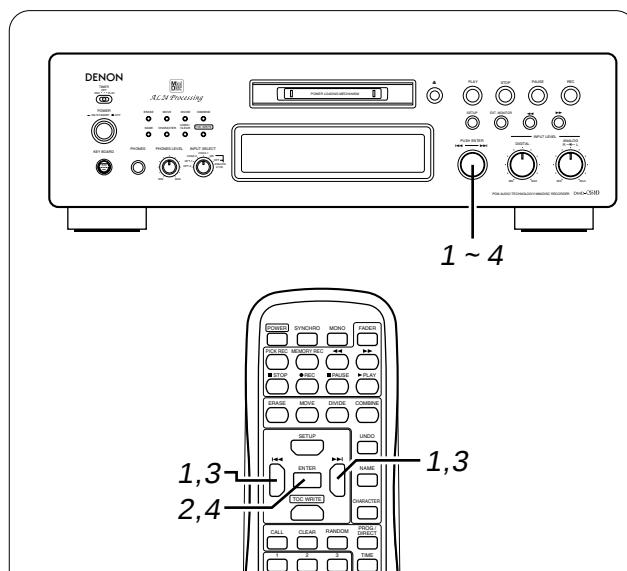
4

本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押して、シンクロ録音のオン/オフを確定します。
・選択したシンクロ録音モードが表示されます。

(4) シンクロ録音レベルの設定

シンクロ録音をおこなうときのシンクロ録音レベルの設定をおこないます。(37ページ参照)

シンクロ録音をおこなうとき、入力されている信号のレベルが設定値以上になると録音を開始し、設定値以下の部分が4秒以上続くと録音一時停止状態となります。



1

セットアップモードにし、本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して “Sync Rec Lev?” を表示させます。

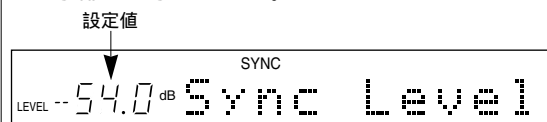
2

本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押して、シンクロ録音レベルの選択モードを確定します。

3

本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して、シンクロ録音レベルを設定します。

・設定値がサンプリング周波数、シンクロレベル表示部に表示されます。



設定範囲は - 54dB ~ - 30dB で、6dB ステップずつ可変できます。

4

本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押して、シンクロ録音レベルを確定します。
・ “Complete” が表示されます。

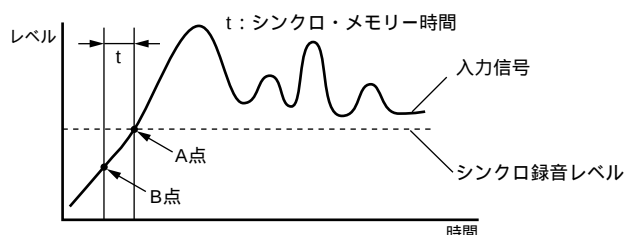
アナログ入力録音の『ANALOG A.T.M. ON』にしたとき、ここで設定したレベル以下の信号が約2秒間以上続き、再び設定レベル以上の信号が入力されたときには、自動的に曲番が変わります。

セットアップのしかた(つづき)

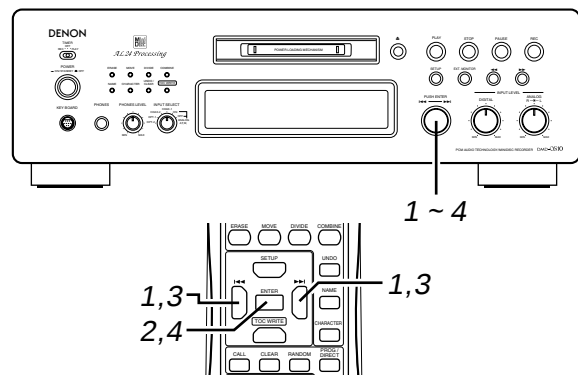
(5) シンクロ・メモリー時間の設定

シンクロ録音をおこなうときの、シンクロ録音レベル検出ポイントからのさかのぼり録音開始時間の設定をおこないます。

下図で、シンクロ録音レベルを検出したA点から、シンクロ・メモリー時間で設定した時間(t)をさかのぼったB点より録音を開始します。



シンクロ録音をおこなうときの頭の部分の無音部や微少レベル部分を録音することができます。シンクロ・メモリー録音をおこないたくないときは、設定時間を0秒にしてください。



1 セットアップモードにし、本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して“S. Memo Time?”を表示させます。

2 本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押して、シンクロ・メモリー時間の選択モードを確定します。

3 本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して、シンクロ・メモリー時間を設定します。
・設定値がサンプリング周波数、シンクロレベル表示部に表示されます。

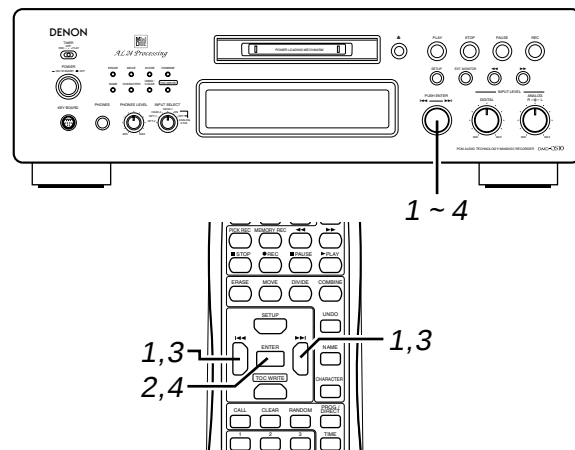
設定値
↓
0.6 S. Memory Time

設定範囲は0秒～2秒で、0.2秒ステップずつ可変できます。

4 本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押して、シンクロ・メモリー時間を確定します。
・“Complete”が表示されます。

(6) メモリー録音時間の設定

メモリー録音をおこなうときのさかのぼり録音開始時間の設定をおこないます。(37ページ参照)



1 セットアップモードにし、本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して“Mem Rec Time?”を表示させます。

2 本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押して、メモリー録音時間の選択モードを確定します。

3 本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して、メモリー録音時間を設定します。
・設定値がサンプリング周波数、シンクロレベル表示部に表示されます。

設定値
↓
6.0 Mem Rec Time

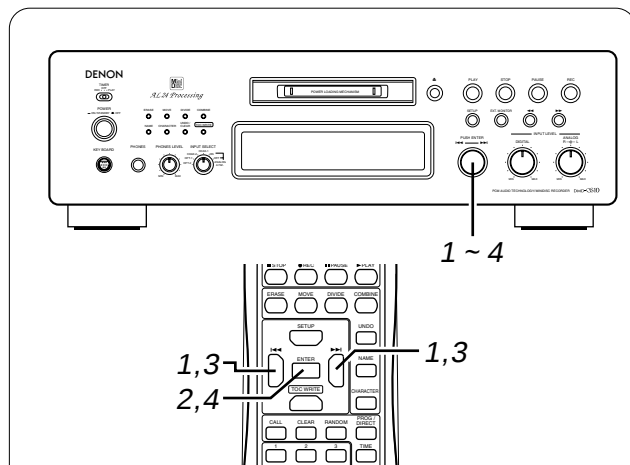
設定範囲は1秒～6秒で、1秒ステップずつ可変できます。

4 本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押して、メモリー録音時間を確定します。
・“Complete”が表示されます。

セットアップのしかた(つづき)

(7) フェードイン時間の設定

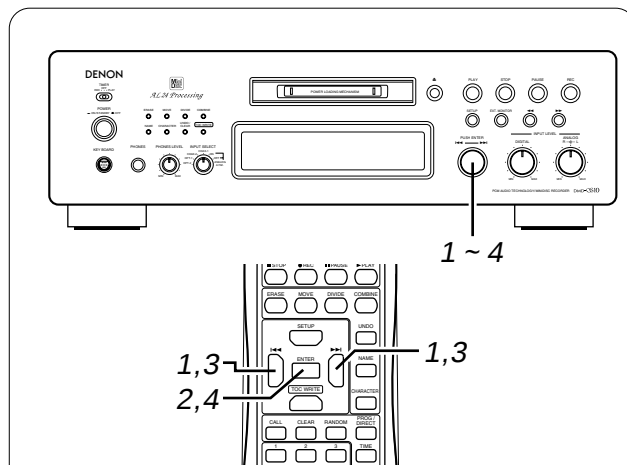
フェードイン録音をおこなうときのフェードイン時間の設定をおこないます。(38ページ参照)



- 1 セットアップモードにし、本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して“Fadein Time?”を表示させます。
- 2 本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押して、フェードイン時間の選択モードを確定します。
- 3 本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押してフェードイン時間を設定します。
・設定値がサンプリング周波数、シンクロレベル表示部に表示されます。
設定値
↓
4.0 Fadein Time
設定範囲は1秒～15秒で、0.5秒ステップずつ可変できます。
- 4 本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押して、フェードイン時間を確定します。
・“Complete”が表示されます。

(8) フェードアウト時間の設定

フェードアウト録音をおこなうときのフェードアウト時間の設定をおこないます。(38ページ参照)



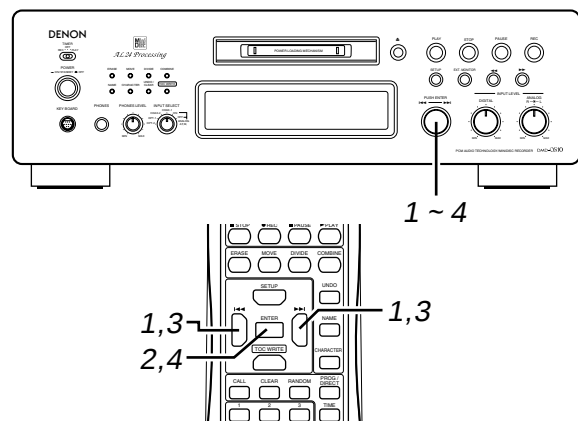
- 1 セットアップモードにし、本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して“Fadeout Time?”を表示させます。
- 2 本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押して、フェードアウト時間の選択モードを確定します。
- 3 本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押してフェードアウト時間を設定します。
・設定値がサンプリング周波数、シンクロレベル表示部に表示されます。
設定値
↓
4.0 Fadeout Time
設定範囲は1秒～15秒で、0.5秒ステップずつ可変できます。
- 4 本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押して、フェードアウト時間を確定します。
・“Complete”が表示されます。

セットアップのしかた(つづき)

(9) デジタル入力語長の設定

デジタル入力録音をおこなうときの入力語長（入力ビット数）の設定をおこないます。

本機では、デジタル入力信号をAL24 Processingにより24bitに拡張し、録音をおこないます。AL24 Processingにより、ビット拡張をおこなうための入力ビット数の設定をおこないます。



1

セットアップモードにし、本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して“Dig. In Bit?”を表示させます。

2

本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押して、デジタル入力語長の選択モードを確定します。

3

本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押してデジタル入力語長を設定します。

・選択されている入力語長が点滅します。
入力されているビット数 設定値点滅

16 16/20/24/Auto

『Auto』は、デジタル入力信号から自動的にビット数を検出するモードです。サンプリング周波数、シンクロレベル表示部には、現在入力されている信号の語長が表示されます。従来のCDプレーヤー、DVDプレーヤーなどの機器によっては、デジタル出力信号にビット数のデータがなく、正しい語長が表示されません。この場合、マニュアルで入力語長を設定してください。

4

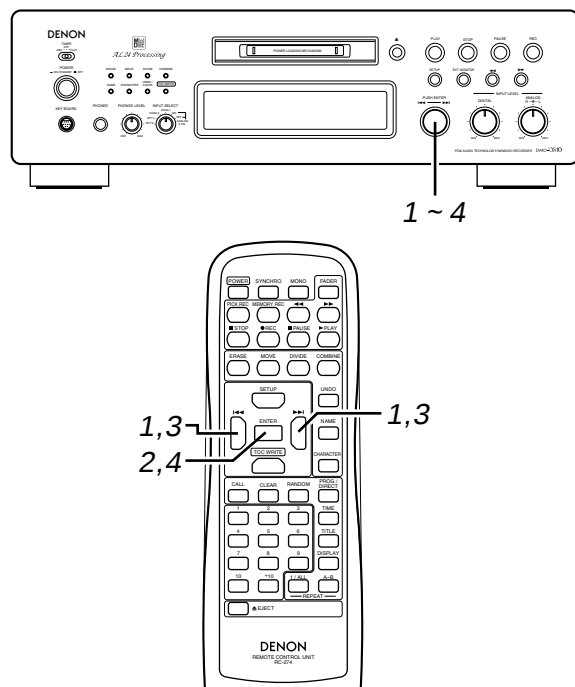
本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押して、デジタル入力語長を確定します。

・“Complete”が表示されます。

(10) デジタル出力語長の設定

ミニディスクを再生中のデジタル出力語長（出力ビット数）の設定をおこないます。

レックモニター、外部入力モニターのデジタル出力語長は常に24ビットになり、変更することはできません。



1

セットアップモードにし、本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して“Dig. Out Bit?”を表示させます。

2

本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押して、デジタル出力語長の選択モードを確定します。

3

本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押してデジタル出力語長を設定します。

・選択されている出力語長が点滅します。

設定値点滅

16/20/24 Bit

4

本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押して、デジタル出力語長を確定します。

・“Complete”が表示されます。

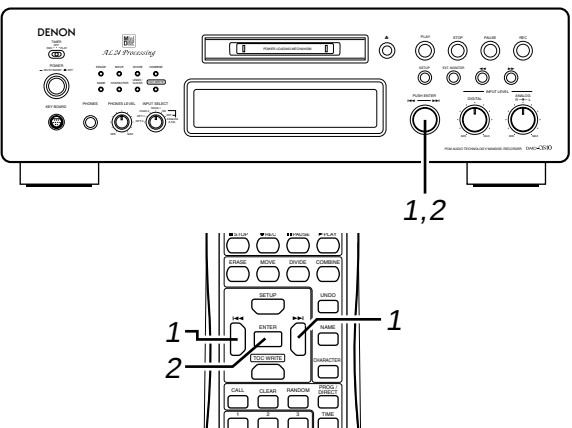
セットアップのしかた(つづき)

(11) ピックレックの開始の設定

ピックレックをはじめることができます。

(49～51ページ参照)

リモコンのピックレックボタンでピックレックをはじめることもできます。



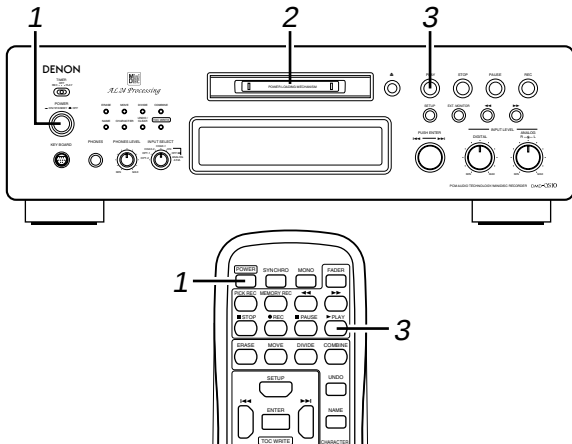
1	セットアップモードにし、本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して“Pick Rec Go?”を表示させます。
2	本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押して、ピックレック開始を確定します。 ・ピックレックをはじめます。

ご注意

- ・録音可能なディスクが装着されないと、ピックレック選択モードには入りません。

10 通常の再生のしかた

(1) 再生のはじめかた



1 電源を入れます。
ミニディスクが入っていないときには、“No Disc”が表示されます。

2 ディスク挿入口にミニディスクを入れます。
ミニディスクを入れるときは、ミニディスク上面の矢印の向きに従ってディスク挿入口に差し込んでください。
ミニディスクは自動的に引き込まれます。

Disc Set

(右に続きます。)

TOC Reading

↓
ディスク名

BEST HIT SONG

↓
収録曲数 収録時間

12Tr 62m 03s

2 プレイボタンを押します。
• 再生をはじめます。

曲名

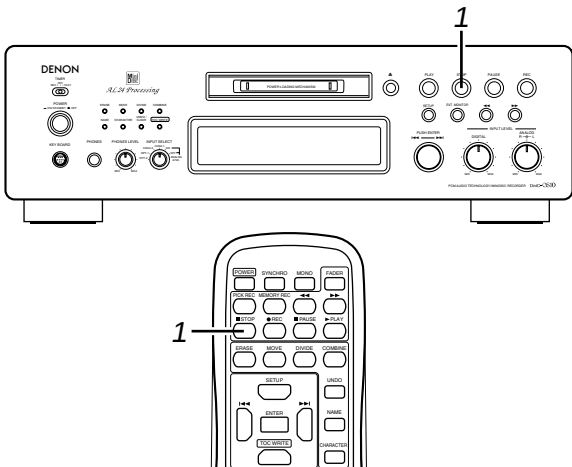
SOUL LOVE

↓
曲名が入力されていない場合、曲名は表示されません。

再生中の曲番 曲の経過時間

01Tr 05m 28s

(2) 再生の止めかた



1 再生中にストップボタンを押します。
• 再生を停止します。

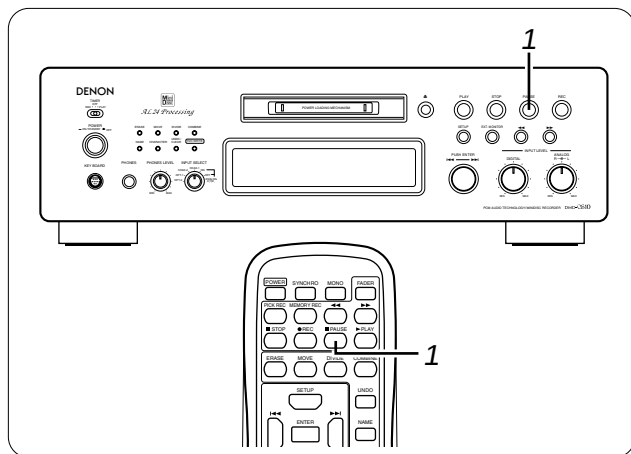
2 また、ミニディスクに収録されている最終曲の再生が終わると、自動的に停止します。

11 いろいろな再生のしかた

(1) 再生途中で一時的に止めておくとき

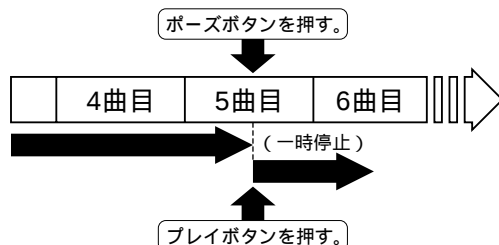
『ポーズ』

再生の途中で一時再生を止め、再びその位置から聞くことができます。



再生中にポーズボタンを押します。
・再生を一時停止します。

1

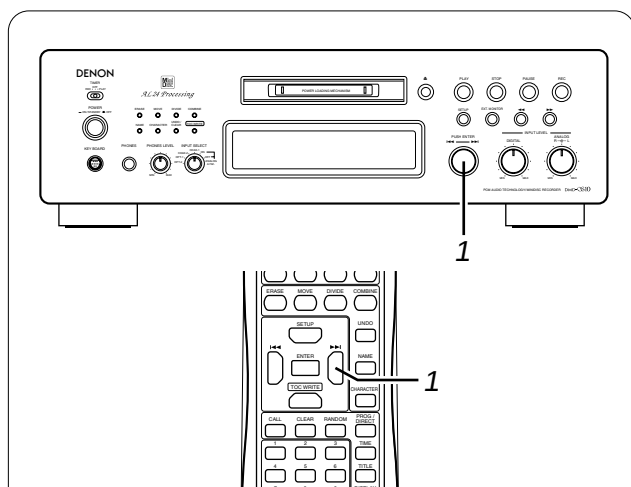


一時停止した位置から再び再生をはじめるときは、プレイボタン (▶ PLAY) を押してください。

(2) 再生途中で曲の頭出しをするとき

『オートマチックサーチ』

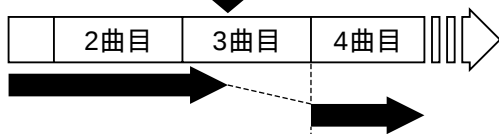
1 次の曲の頭出し



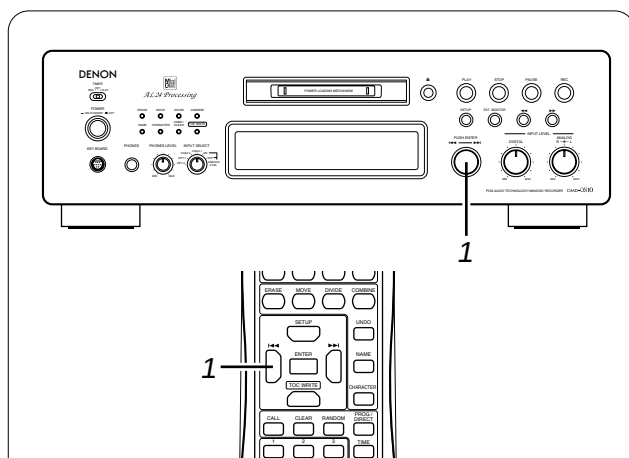
本体のジョグダイヤルを右 (○) に回すか、リモコンの▶▶▶ボタンを押します。
・さらに本体のジョグダイヤルを右 (○) に回すか、リモコンの▶▶▶ボタンをくり返し押すと、次々と後ろの曲の頭出しをおこなうことができます。

1

本体のジョグダイヤルを右 (○) に回すか、リモコンの▶▶▶ボタンを押す。



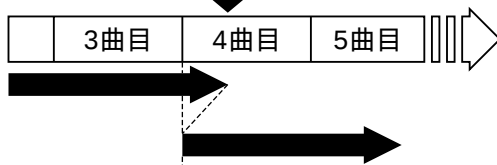
2 聞いている曲の頭出し



本体のジョグダイヤルを左 (○) に回すか、リモコンの◀◀◀ボタンを押します。
・さらに本体のジョグダイヤルを左 (○) に回すか、リモコンの◀◀◀ボタンをくり返し押すと、次々と前の曲の頭出しをおこなうことができます。

1

本体のジョグダイヤルを左 (○) に回すか、リモコンの◀◀◀ボタンを押す。



いろいろな再生のしかた(つづき)

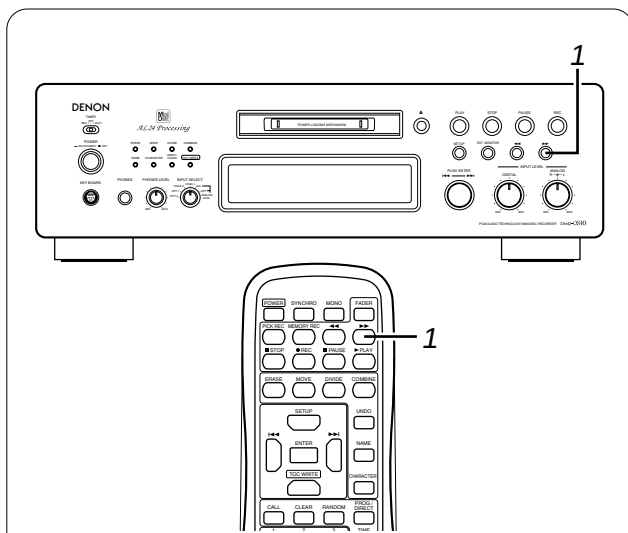
(3) 早聞きしながら好きな部分を探すとき

『マニュアルサーチ』

飛び飛びに早聞きすることができます。

長い曲の中から好きな部分を探して、途中から聞くとときに便利です。

1 早送りするとき

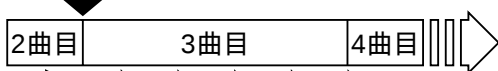


再生中に▶▶ ボタンを押します。

- ▶▶ ボタンから指を離せば、そこから通常の再生をおこないます。

▶▶ ボタンを押す続ける。

1

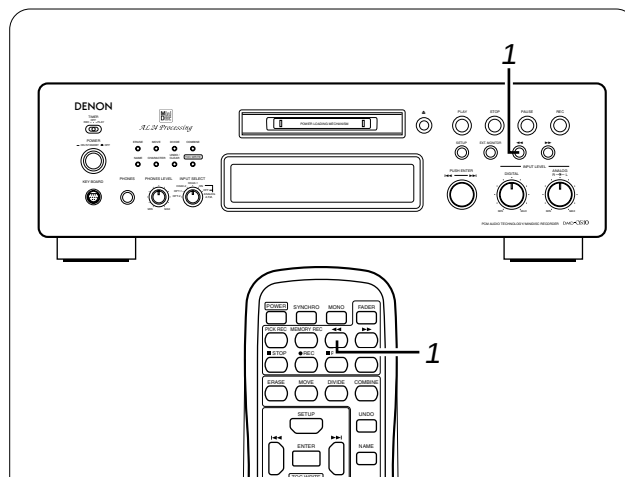


(再生) 飛ぶ 飛ぶ 飛ぶ 飛ぶ 飛ぶ

▶▶ ボタンを押す続けて収録されている最終曲の再生が終わると、自動的に停止します。

音を聞かずに高速早送りをおこなうときは、一時停止中に▶▶ ボタンを押す続けてください。

2 早戻しするとき

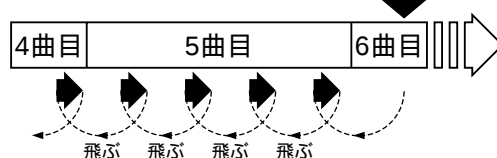


再生中に◀◀ ボタンを押す続けます。

- ◀◀ ボタンから指を離せば、そこから通常の再生をおこないます。

◀◀ ボタンを押す続ける。

1



飛ぶ 飛ぶ 飛ぶ 飛ぶ

◀◀ ボタンを押す続けて収録されている最初の曲の頭まで戻ると、マニュアルサーチは終了して再生をはじめます。

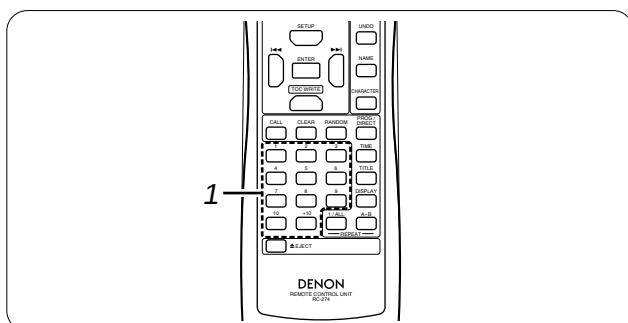
音を聞かずに高速早戻しをおこなうときは、一時停止中に◀◀ ボタンを押す続けてください。

ご注意

- マニュアルサーチから通常の再生に戻るときに若干音が途切れることがありますが、故障ではありません。

(4) 好きな曲を聞くととき(リモコンのみ)

『ダイレクト再生』



テンキーまたは+10ボタンを押して、聞きたい曲番を選びます。

【例】4曲目を聞きたいとき : 4

1

12曲目を聞きたいとき : +10, 2

30曲目を聞きたいとき : +10, +10, 10

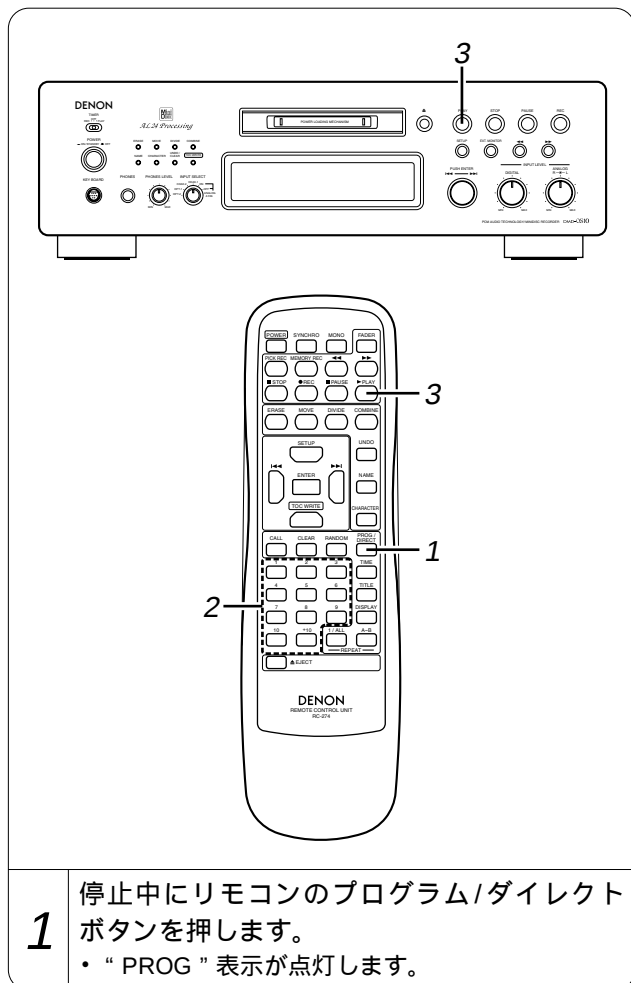
と押してください。その曲から再生をはじめます。

いろいろな再生のしかた(つづき)

(5) 聞きたい曲を好きな順番に聞くととき

『プログラム再生』

ミニディスクに収録されている曲の中から聞きたい曲を選び、好きな順番に聞くことができます。
最大25曲までプログラムすることができます。



リモコンのテンキーまたは+10ボタンを押して、プログラムしたい曲番を選びます。

2 【例】3曲目、12曲目、7曲目とプログラムしたいとき：3+1027と押してください。

3 プレイボタンを押します。
・プログラムした順に再生します。

プログラムした内容を確認するときは、リモコンのコールボタン（CALL）を押してください。ボタンを押すたびにプログラムした内容が順次ディスプレイに表示されます。

プログラムした曲番を取り消すときは、停止中にクリアーボタン（CLEAR）を押してください。押すたびに最後にプログラムした曲番から順に消去されます。

プログラム内容をすべて取り消すときは、停止中にリモコンのプログラム/ダイレクトボタン（PROG/DIRECT）またはイジェクトボタン（▲）を押してください。

ダイレクト再生をおこなうときは、停止中にリモコンのプログラム/ダイレクトボタン（PROG/DIRECT）を押してプログラムモードを解除してください。

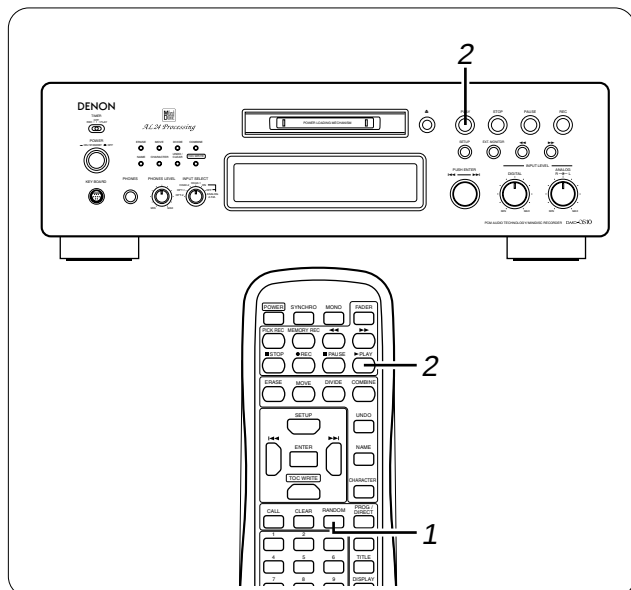
ご注意

- ・プログラム再生中に1曲リピート再生はできません。
- ・プログラム設定中に総再生時間が256分以上になると正しい時間表示はできませんが、プログラムすることはできます。

(6) 順不同に聞くととき

『ランダム再生』

ミニディスクに収録されている曲をランダム（無作為）な順序で1回ずつ聞くことができます。



1 停止中にリモコンのランダムボタンを押します。
・“RANDOM”表示が点灯します。

2 プレイボタンを押します。

通常再生時：
自動的に選曲をして、ランダム再生します。

全曲リピート再生時：
一通りのランダム再生後、違った曲順でランダム再生をおこないます。以後毎回違った曲順でランダム再生します。

ランダム再生を止めるときは、停止中にもう一度リモコンのランダムボタン（RANDOM）を押してください。通常の再生に戻ります。

ご注意

- ・ランダム再生中に1曲リピート再生はできません。

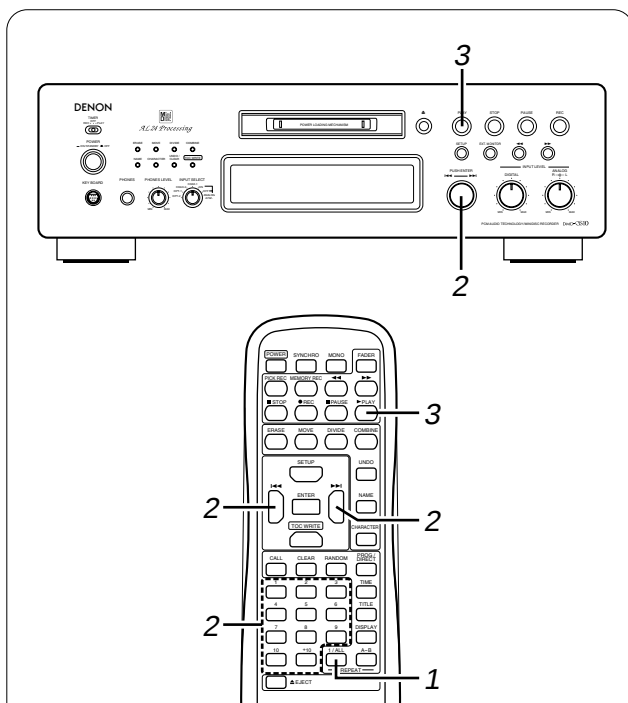
いろいろな再生のしかた(つづき)

(7) くり返して聞くとき

『リピート再生』

1 1曲のみをくり返して聞くとき

『1曲リピート再生』



1

リモコンの1曲/全曲リピートボタンを1回押します。

- “ REPEAT ” 表示が点灯します。

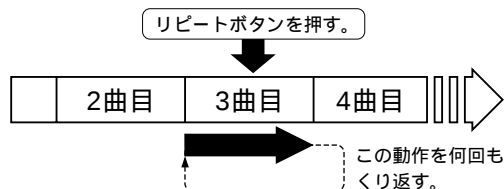
2

本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタン、テンキーまたは+10ボタンを押して、聞きたい曲番を選びます。

3

プレイボタンを押します。

- 再生をはじめます。
- 選択した曲の再生が終わると、その曲の頭に帰って再生をくり返します。

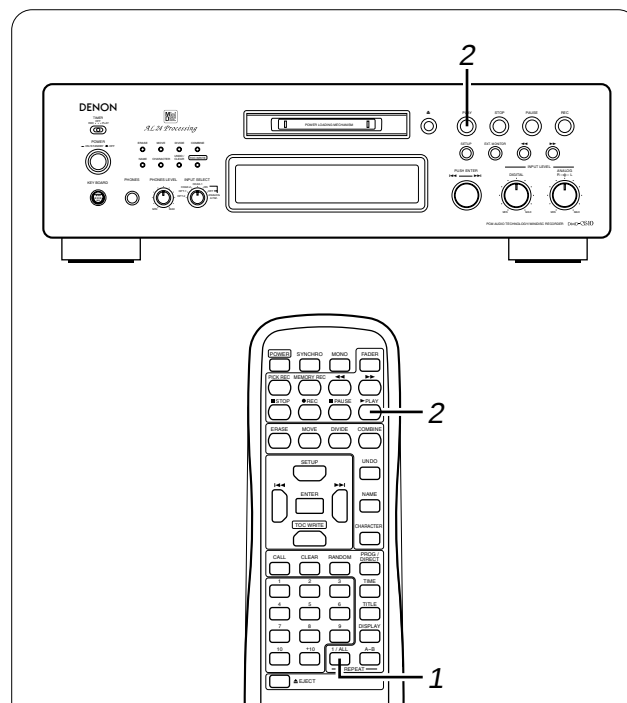


再生中にリモコンの1曲/全曲リピートボタン (REPEAT 1/ALL) を1回押した場合も、再生中の曲を1曲リピート再生します。

1曲リピート再生を止めるときは、“ REPEAT ” 表示が消灯するまでリモコンの1曲/全曲リピートボタン (REPEAT 1/ALL) を押してください。

2 全曲をくり返して聞くとき

『全曲リピート再生』



1

リモコンの1曲/全曲リピートボタンを続けて2回押します。

- “ REPEAT ” 表示が点灯します。

2

プレイボタンを押します。

- 再生をはじめます。

再生中にリモコンの1曲/全曲リピートボタン (REPEAT 1/ALL) を2回押した場合も、全曲リピート再生します。プログラム再生中にリモコンの1曲/全曲リピートボタン (REPEAT 1/ALL) を押した場合は、プログラムした順に再生をくり返します。

全曲リピート再生を止めるときは、“ REPEAT ” 表示が消灯するまでリモコンの1曲/全曲リピートボタン (REPEAT 1/ALL) を押してください。

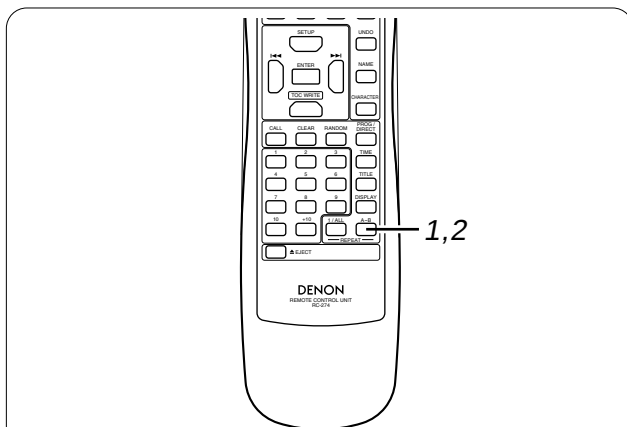
ご注意

- プログラム再生中およびランダム再生中には1曲リピート再生はできません。

いろいろな再生のしかた(つづき)

3 任意の2点区間をくり返して聞くと 『A-B間リピート再生』

曲の中の一部だけをくり返して再生しますので、カラオケや楽器の練習などに便利です。



1

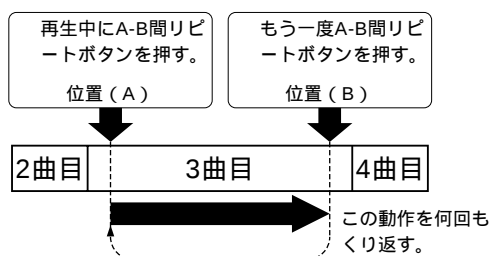
再生中にくり返しをはじめる位置（A）で、リモコンのA-B間リピートボタンを押します。

- “ REPEAT
A- ” 表示が点灯します。

2

くり返す位置（B）でもう一度、リモコンのA-B間リピートボタンを押します。

- “ REPEAT
A-B ” 表示が点灯し、位置（A）に戻って再生をくり返します。



A-B間リピート再生を止めるときは、“ REPEAT ” 表示が消灯するまでリモコンのA-B間リピートボタン（REPEAT A-B）を押してください。A-B間リピート再生を解除して、再生を続けます。
ストップボタン（■ STOP）を押すと、A-B間リピート再生を解除して停止します。

ご注意

- プログラム再生中およびランダム再生中にはA-B間リピート再生はできません。
- A-B間リピート再生中およびくり返す位置（B）の設定の際、オートマチックサーチ、マニュアルサーチはできません。

12 通常の録音のしかた

録音済みのミニディスクを使用するときは、残り時間に注意してください。

録音済みのミニディスクの内容をすべて消去して、ミニディスクの頭から録音したいときは、全曲消去操作をおこなってから録音してください。（全曲消去のしかたは、41ページの「全曲を消去する」を参照してください。）

録音をおこなうときは誤録音/誤消去防止ツメをずらして、孔を閉じてください。

(1) 録音のはじめかた

ブランクディスクおよびノートラックディスクを入れたときは自動的に録音一時停止状態になります。

但し、シンクロ録音モードのときには本機能ははたらきません。

（オートレックポーズ機能）

1 アナログ入力録音をおこなうとき

1	電源を入れます。
2	ディスク挿入口に録音をおこなうミニディスクを入れます。
3	モード表示部を確認し、録音モードを確認します。（21ページ参照） ・ステレオ録音モードのときには、何も表示されません。 ・モノラル録音モードのときには、“MONO”表示が点灯します。

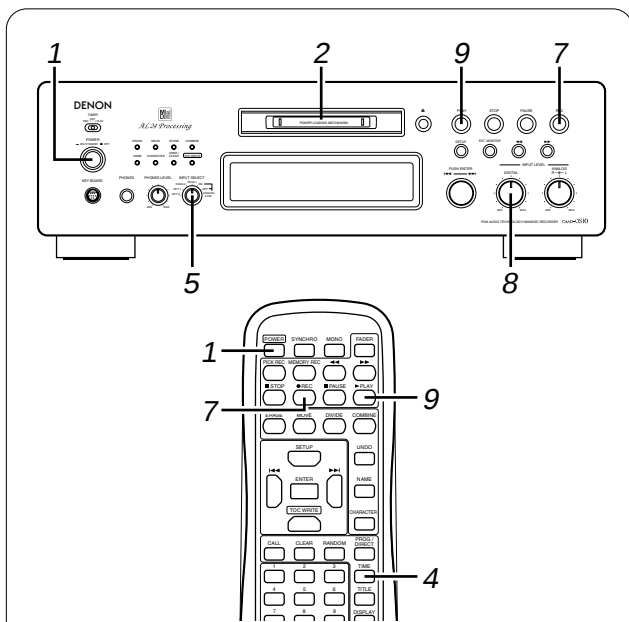
4	《記録済みのミニディスクを使用する場合》リモコンのタイムボタンを押して、録音可能時間を確認します。 ・タイムボタン（TIME）を押すたびに、記録済み時間と録音可能時間が切り替わります。
5	本体の入力切り替えつまみを『ANALOG A.T.M. ON』または『ANALOG A.T.M. OFF』に切り替えます。 ・『ANALOG A.T.M. ON』に切り替えたとき：“Ana. ATM On”が表示され、録音入力信号の無音部（約2秒以上）を感知すると自動的に曲番をつけて記録します。 ・『ANALOG A.T.M. OFF』に切り替えたとき：“Ana. ATM Off”が表示され、一続きの曲として記録されます。（曲番をつけるときは、43ページの「曲を分割するには」を参照してください。） “ Analog ATM On ”または“ Analog ATM Off ”表示にする。 Ana. ATM On
6	CDプレーヤー、カセットデッキなどで、録音したい曲を再生します。
7	録音ボタンを押します。 ・録音一時停止状態になります。
8	本体のアナログ録音レベル調整つまみで、録音レベルを調整します。 ・レベルメーターが“OVER”表示まで点灯しないように調整してください。 調整が終わったら録音したい曲をスタンバイ状態にします。
9	プレイボタンを押します。 ・録音をはじめます。
10	CDプレーヤー、カセットデッキなどで、録音したい曲を再生します。

通常の録音のしかた(つづき)

2 デジタル入力録音をおこなうとき

本機にはサンプリングコンバーターが搭載されています。

デジタル入力信号のサンプリング周波数がミニディスク(44.1kHz)と異なるDATや衛星放送(32kHz、48kHz)の場合は、自動的にサンプリング周波数を44.1kHzに変換して録音します。



1 電源を入れます。

2 ディスク挿入口に録音をおこなうミニディスクを入れます。

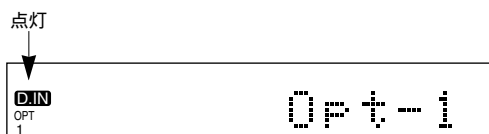
3 モード表示部を確認し、録音モードを確認します。(21ページ参照)
 ・ステレオ録音モードのときには、何も表示されません。
 ・モノラル録音モードのときには、“MONO”表示が点灯します。

4 《記録済みのミニディスクを使用する場合》リモコンのタイムボタンを押して、録音可能時間を確認します。
 ・タイムボタン(TIME)を押すたびに、記録済み時間と録音可能時間が切り替わります。

本体の入力切り替えつまみを『COAX-1』か『COAX-2』、または『OPT-1』か『OPT-2』に切り替えます。

・選択された入力ソースの“^{COAX}1”、“^{COAX}2”、“^{OPT}1”または“^{OPT}2”表示が点灯します。

5 【例】デジタル入力端子(OPTICAL)1に設定した場合



6 CDプレーヤー、DATデッキなどで、録音したい曲を再生します。

録音ボタンを押します。
 ・録音一時停止状態になり、入力ソースのサンプリング周波数が表示されます。

7 “D.IN”表示が点滅しているときはデジタルデータが正常に輸入されていないためです。このようなときはデジタル入力端子の接続を確認してください。

8 本体のデジタル録音レベル調整つまみで、録音レベルを調整します。

・レベルメーターが“OVER”表示まで点灯しないように調整してください。

調整が終わったら録音したい曲をスタンバイ状態にします。

9 プレイボタンを押します。

・録音をはじめます。

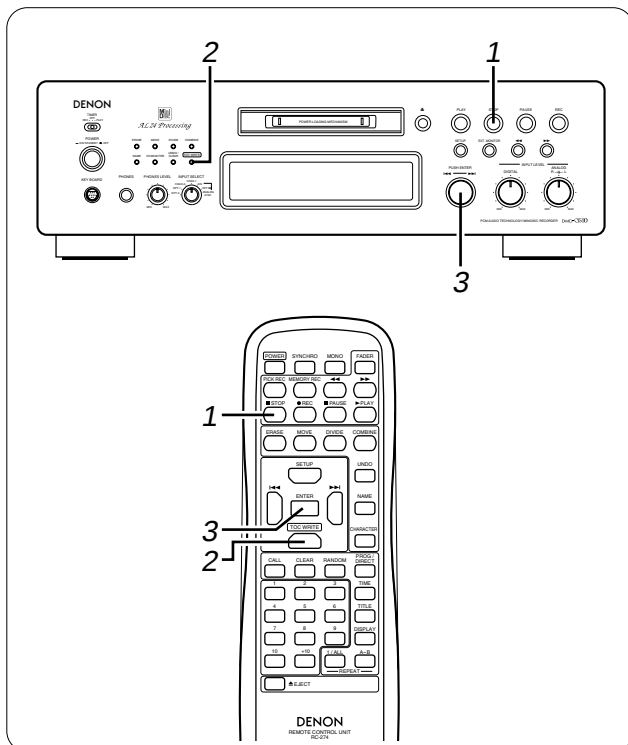
10 CDプレーヤーなどで、録音したい曲を再生します。

ご注意

- ・ステレオの音声を入力しているときに、録音モードを『MONO』に切り替えてもレベルメーター表示およびモニター信号はモノラルにはなりません。
- ・デジタル録音レベルを変えたくない場合は、“D. Lev 0.0dB”と表示されるようにデジタル録音レベル調整つまみ(DIGITAL INPUT LEVEL)を設定してください。入力信号のレベルを変えずに録音します。
- ・デジタル録音レベル調整つまみ(DIGITAL INPUT LEVEL)は中央位置の一定範囲で、“D. Lev 0.0dB”となります。
- ・デジタル録音レベルを調整できる範囲は - ∞、- 42dB、- 30dB、- 20dB、- 12dB ~ + 12dBです。
 なお、表示する設定値は計算処理上、多少誤差を含む場合があります。
- ・デジタル録音レベルが - ∞のときの表示は“D. Lev - - - dB”と表示され、音声は出力されません。

通常の録音のしかた(つづき)

(2) 録音の止めかた



1

録音中にストップボタンを押します。

- ・録音を停止します。

また、ミニディスクに録音可能な時間がなくなると自動的に停止します。

2

トックライトボタンを押して、“TOC Write OK?”を表示させます。

3

本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押して、TOC情報の書き込みを確定します。

- ・書き込みをはじめると“**TOC**”表示が点滅しますので、このとき本機に振動を与えたり、本体の電源ボタン(POWER)を押したり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。記録した内容が損なわれたり、正しく記録されないことがあります。

- ・TOC情報の書き込みは、イジェクトボタン(EJECT)を押してミニディスクを排出するか、リモコンの電源ボタン(POWER)を押して、電源をスタンバイ状態にする操作でもおこなうことができます。

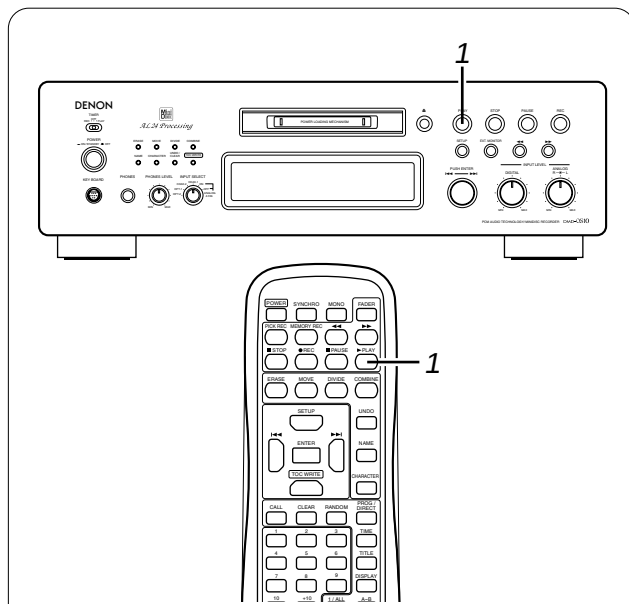
ご注意

- ・CDやミニディスクからのデジタル入力録音では、曲番も自動的に記録されます。(CDまたはミニディスクの録音内容やCDプレーヤーなどの機器によっては、曲番がCDまたはミニディスクと異なる場合があります。)(20ページ参照)
- ・CDまたはミニディスクからの録音時にCDまたはミニディスクの再生がはじまると、曲番が1つ繰り上がる場合があります。このような場合は、不要な曲番を消去(ERASE)してください。(41ページ参照)
- ・CD、ミニディスク以外のデジタル入力録音では、自動的に無音部を感知して曲番をつけて録音します。(20ページ参照)CDまたはミニディスクからのデジタル入力録音で同じ曲を続けてプログラムしたり、1曲リピート再生をおこなった場合、曲番が切り替わらないことがあります。
- ・デジタル入力録音をおこなったミニディスクからさらにデジタル入力録音をおこなうことはできません。本機はシリアルコピーマネージメントシステム(SCMS)に準拠しています。(シリアルコピーマネージメントシステムとは、各種デジタルオーディオ機器間でのデジタル信号どうしの複製を『1世代まで』と規制したものです。)デジタル入力録音をおこなったミニディスクを録音するときは、アナログ入力録音をしてください。(33ページ参照)
- ・本機は一般家庭用として使用する製品ですので、業務用など一般家庭用としていない製品を組み合わせで使用する場合(録音するときなど)、正常に動作しないことがあります。
- ・デジタル入力録音をおこなっている途中で“Copy Prohibit”または“Dig. Unlock”表示になり録音一時停止状態になったときにミニディスクを排出したい場合は、一度ストップボタン(■ STOP)を押してからイジェクトボタン(▲)を押してミニディスクを取り出してください。

13 いろいろな録音のしかた

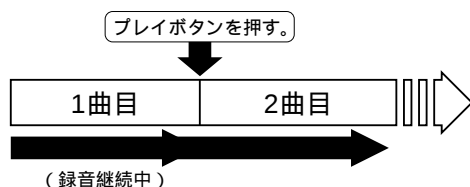
(1) 録音中に曲番をつけたいとき

録音中、録音モードに関わらず、曲番をつけることができます。



録音中にプレイボタンを押します。
・ボタンを押したところで曲番が変わります。

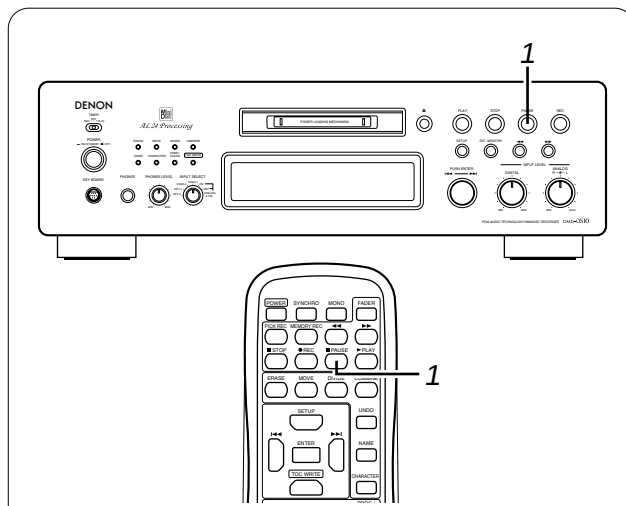
1



曲番を切り替えてから約4秒間は、曲番を切り替えることができません。

(2) 録音途中で一時的に止めておくとき

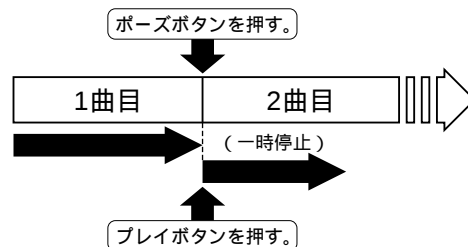
録音の途中で一時録音を止め、再びその位置から録音することができます。



録音中にポーズボタンを押します。

・ポーズボタンを押したところで一時停止して、曲番が変わります。

1



続けて録音するときは、プレイボタン (▶ PLAY) を押してください。

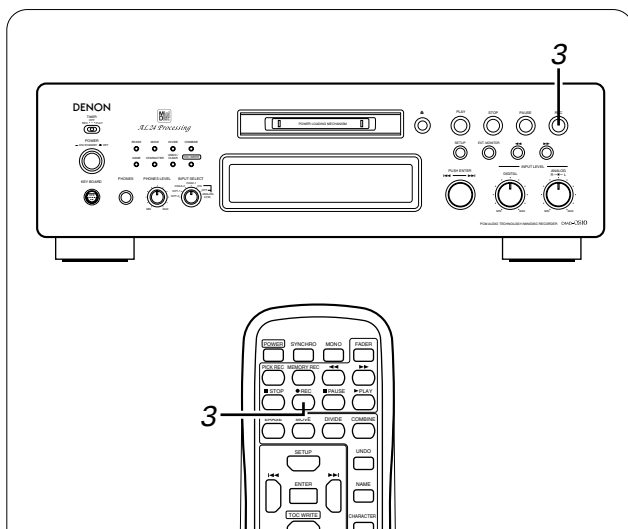
ご注意

- ・録音終了後は、トックライトボタン (TOC WRITE) を押して “TOC Write OK?” を表示させ、本体のジョグダイヤル、またはリモコンのエンターボタンを押して、TOC情報をミニディスクに書き込ませてから再び動作させてください。
- ・TOC情報の書き込みは、イジェクトボタン (▲) を押してミニディスクを排出する操作と、リモコンの電源ボタン (POWER) を押して電源をスタンバイ状態にする操作でもおこなうことができます。
- ・書き込みをはじめると “TOC” 表示が点滅しますので、このとき本機に振動を与えたり、本体の電源ボタン (POWER) を押したり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。録音した内容が損なわれたり、正しく記録されないことがあります。

いろいろな録音のしかた(つづき)

(3) 他の機器の再生と同時に録音するとき 『シンクロ録音』

入力端子に接続した他の機器で音楽などを再生すると、自動的に録音をはじめることができます。



- 1 「録音のはじめかた」(33、34ページ)の操作をおこないます。
・操作1～8をおこない、ストップボタン(■ STOP)を押し停止状態にします。
- 2 「セットアップのしかた (3) シンクロ録音モードの設定」(22ページ)の操作をおこない、シンクロモードを『オン』にします。
・“SYNC”表示が点灯します。
- 3 録音ボタンを押します。
・録音一時停止状態になり、“LEVEL (設定値)dB Synchro Rec”が表示されます。
- 4 CDプレーヤー、カセットデッキなどで、録音したい曲を再生します。
・自動的に録音をはじめます。

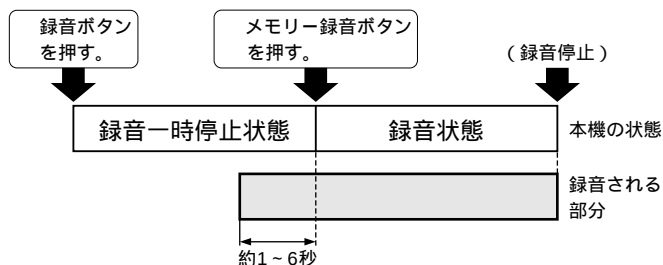
シンクロ録音を止めるときは、ストップボタン(■ STOP)を押してください。
「セットアップのしかた (4) シンクロ録音レベルの設定、(5) シンクロ・メモリー録音時間の設定」(22、23ページ)も合わせてご参照ください。

ご注意

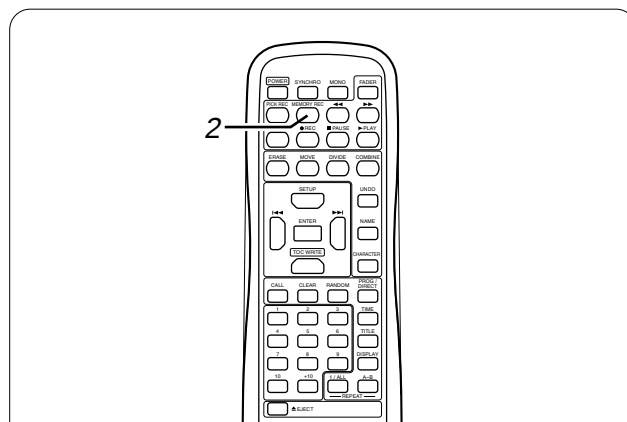
- ・シンクロ録音時、再生音に約4秒以上の無音部分があるときは、曲番を1つ増やして自動的に録音一時停止状態になります。この後に再生が始まると、もう一度録音をはじめます。
- ・曲間に雑音がある場合は、シンクロ録音が正しくはたらかないことがあります。この場合はシンクロ録音レベルの設定を変えてからおこなってください。
- ・シンクロ録音の録音一時停止状態のときにサンプリング周波数が切り替わった場合は、曲番が増えます。
- ・シンクロ録音の録音一時停止状態のときは、録音モード、シンクロ録音モードおよび入力切り替えつまみ(INPUT SELECT)を切り替えることができません。

(4) 最大6秒前の音から録音するとき 『メモリー録音』

録音一時停止状態にした時点で、本機に入力されていた音を約1秒～6秒前にさかのぼったところから録音をはじめることができます。



衛星放送などのエアチェック(AIR CHECK)で録音をはじめるときのタイミングが遅れ、頭の部分を録音し損なうことを防ぐときに便利です。



- 1 「録音のはじめかた」(33、34ページ)の操作をおこないます。
・操作1～8をおこなってください。
- 2 リモコンのメモリー録音ボタンを押します。
・“Memory Rec”が表示され、設定されている時間前にさかのぼって録音をはじめます。

メモリー録音を止めるときは、ストップボタン(■ STOP)を押してください。
「セットアップのしかた (6) メモリー録音時間の設定」(23ページ)も合わせてご参照ください。

ご注意

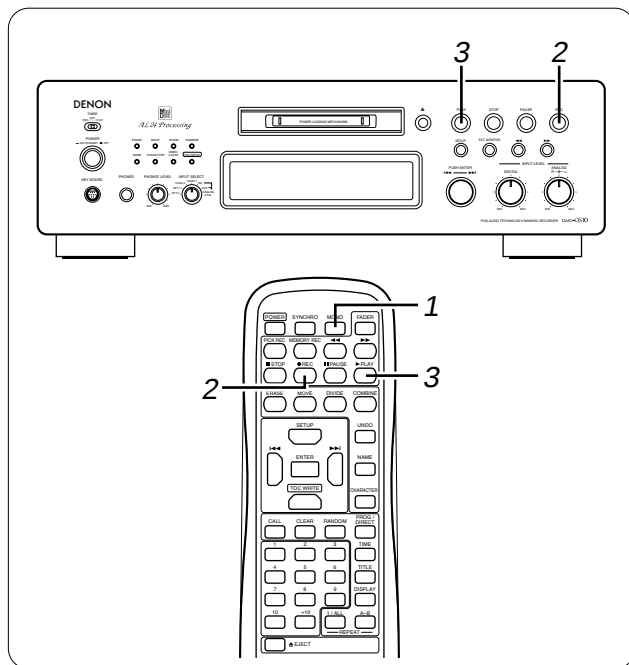
- ・本機は録音一時停止状態にした時点から入力されている音をメモリーに蓄えはじめます。従って、録音一時停止状態にしてから約6秒以上経過した後で録音をはじめないと約6秒前の音から録音できません。また、メモリー録音をはじめるときの約6秒前までの間に入力切り替えつまみ(INPUT SELECT)で入力を切り替えたときは、切り替える前の入力音声が入力されます。
- ・シンクロ録音モードでは、メモリー録音はできません。

いろいろな録音のしかた(つづき)

(5) モノラル録音するとき

『モノラル録音』

モノラルで録音すると、ステレオ録音の約2倍の時間が録音できます。
モノラル録音の曲やトーク中心の番組などを録音するときに便利です。



- 1 リモコンの録音切り替えボタンを押します。
・ “ MONO ” 表示が点灯します。
- 2 録音ボタンを押します。
・ 録音一時停止状態になります。
- 3 プレイボタンを押します。
・ 録音をはじめます。

モノラル録音を解除するときは、もう一度録音モード切り替えボタン (MONO) を押します。“ MONO ” 表示が消灯し、“ Stereo ” が表示されます。
本体の電源をOFF (■) にしてもモノラル録音モードは記憶されています。

ご注意

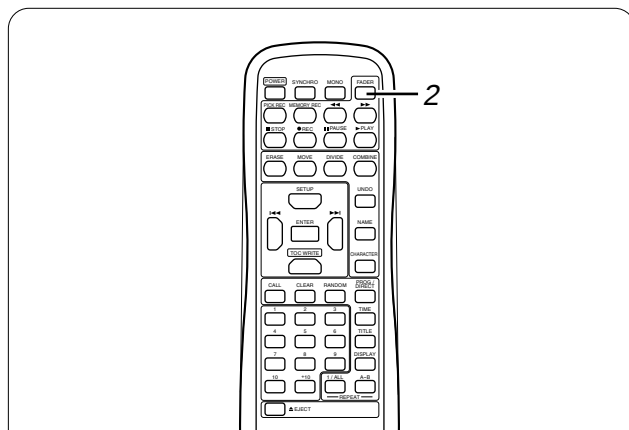
- ・ 録音中は録音モードを切り替えることができません。
- ・ 録音モード切り替えボタン (MONO) でモノラル録音モードに切り替えても、録音モニター信号およびディスプレイのレベルメーター表示はモノラルにはなりません。

(6) フェードイン・フェードアウトをして録音するとき

『フェーダー録音』

徐々に音を大きくしたり (フェードイン) 小さくしたり (フェードアウト) して録音ができます。

1 フェードイン録音

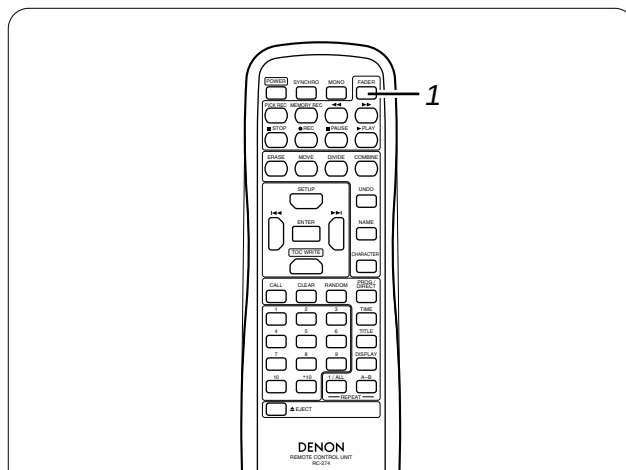


- 1 「録音のはじめかた」(33、34ページ)の操作をおこないます。
・ 操作1~8をおこなってください。

- 2 リモコンのフェーダーボタンを押します。
・ “ Fadein ” が表示され、フェードイン中は “ ● ” と “ ► ” マークが点滅し、設定されている時間で録音レベルを - ∞ から設定されている録音レベルまで徐々に上げて録音をします。

「セットアップのしかた (7) フェードイン時間の設定」(24ページ) も合わせてご参照ください。

2 フェードアウト録音



- 1 録音中にリモコンのフェーダーボタンを押します。

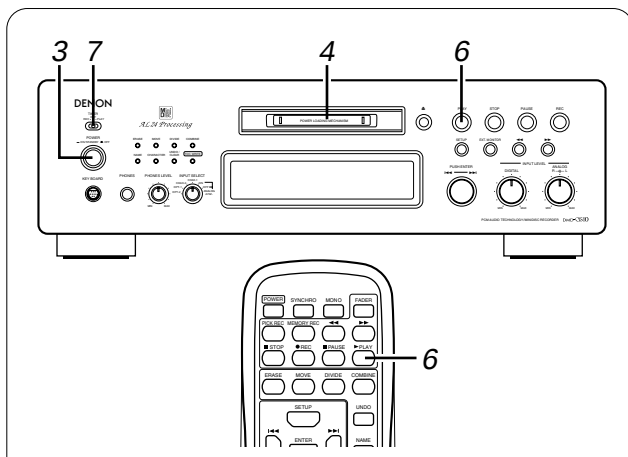
- 1 “ Fadeout ” が表示され、フェードアウト中は “ ● ” と “ ► ” マークが点滅し、設定されている時間で、設定されている録音レベルから - ∞ まで録音レベルを徐々に下げて、録音一時停止状態になります。

「セットアップのしかた (8) フェードアウト時間の設定」(24ページ) も合わせてご参照ください。

14 タイマー再生/録音のしかた

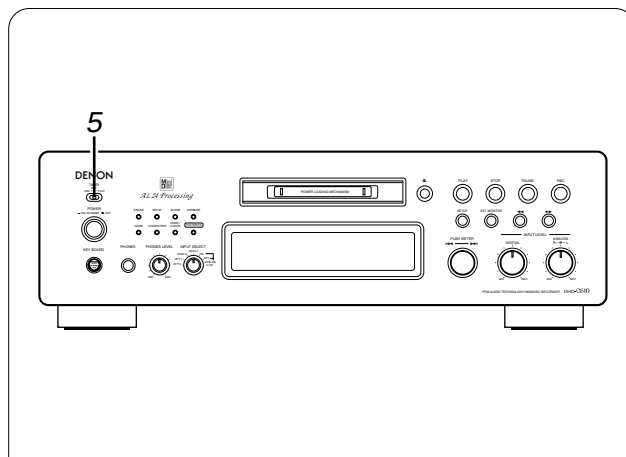
別売りのオーディオタイマーと組み合わせると、タイマー再生/録音をおこなうことができます。
お使いになる前に、オーディオタイマーの取扱説明書もご覧ください。

(1) タイマー再生のしかた



1	本機とオーディオタイマーを接続して、オーディオタイマーの電源コードを電源コンセントに差し込んでください。 接続のしかたは、別売りのオーディオタイマーの取扱説明書を参照してください。
2	接続した各機器の電源を入れます。
3	本機の電源を入れます。
4	本機のディスク挿入口にタイマー再生をおこなうミニディスクを入れます。
5	アンプのファンクションを『MD』に切り替えます。
6	プレイボタンを押します。 ・一度再生して、アンプの音量を調整します。
7	本機のタイマー切り替えスイッチを『PLAY』に切り替えます。
8	オーディオタイマーを希望時刻に設定します。 ・オーディオタイマーに接続した機器の電源が切れます。 ・希望時刻になると自動的に電源が入り、1曲目から再生します。

(2) タイマー録音のしかた



1	本機とオーディオタイマーを接続して、オーディオタイマーの電源コードを電源コンセントに差し込んでください。 接続のしかたは、別売りのオーディオタイマーの取扱説明書を参照してください。
2	接続した各機器の電源を入れます。
3	「録音のはじめかた」(33、34ページ)の操作をおこないます。 ・操作1~8をおこなってください。
4	アンプの入力切り替えボタンを録音するソースに切り替えます。
5	本機のタイマー切り替えスイッチを『REC』に切り替えます。
6	オーディオタイマーを希望時刻に設定します。 ・オーディオタイマーに接続した機器の電源が切れます。 ・希望時刻になると自動的に電源が入り、録音をはじめます。

(40ページにつづきます)

タイマー再生/録音のしかた(つづき)

ご注意

- ・タイマー再生およびタイマー録音をおこなうときは、必ず本体の電源ボタン（POWER）をON（）の状態にしてください。電源ボタン（POWER）がOFF（）の状態のときは動作しません。
- ・タイマー録音で録音した内容は、再度電源を入れたときミニディスクに記録されます。このとき“**TOC**”表示が点滅します。点滅中は、本機に振動を与えたり、本体の電源ボタン（POWER）を押したり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。
- ・タイマー録音後再び動作させるときは、一旦ミニディスクをイジェクトしてミニディスクを入れ直してからおこなってください。
- ・タイマー録音後本機に通電されない状態が2、3日続くとタイマー録音した内容が消えることがありますので、必ず2、3日中に本機を通電状態にしてください。
- ・タイマー再生およびタイマー録音をおこなわないときは、必ず本機のタイマー切り替えスイッチ（TIMER）を『OFF』にしてください。
- ・タイマー録音をはじめるとき、電源が入ってから録音をはじめるまでに数秒間かかります。このことを考慮してタイマーの開始時間と終了時刻を設定してください。
- ・曲の消去などの編集をくり返したミニディスクでタイマー録音をおこなう場合、録音可能時間が短くなることがあります。リモコンのタイムボタン（TIME）を押して、録音可能時間を確認してからタイマー録音をおこなってください。
- ・タイマー録音中は、電源ボタン（POWER）、タイムボタン（TIME）、録音レベル調整つまみ（INPUT LEVEL）以外は受け付けません。
- ・タイマー録音中に録音を止めたいときは、タイマー切り替えスイッチ（TIMER）を『OFF』にしてからストップボタン（ STOP）を押してください。
- ・ミニディスクの誤録音/誤消去防止ツメが開いているとき、およびミニディスクが録音済みで“Disc Full”が表示されているときはタイマー録音できません。

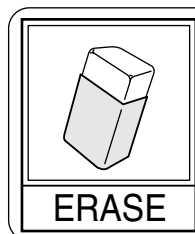
15 編集のしかた

編集機能を使用すると、曲番をつけたり、曲をつないだり、不要な部分を消したりすることができます。また、ディスクや曲ごとにタイトルをつけることもできます。いろいろなミニディスクの便利な編集操作を存分にお楽しみいただけます。

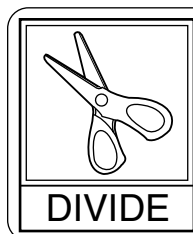
(1) 編集する

本機の編集機能には、次の4つのはたらきがあります。

編集機能（EDIT）



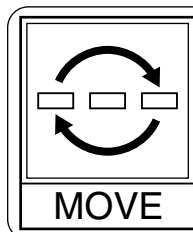
- ・1曲消去（41ページ参照）
- ・全曲消去（41ページ参照）
- ・A-B間消去（42ページ参照）
- ・ディスク名消去（47ページ参照）
- ・曲名消去（47ページ参照）
- ・オールネーム消去（48ページ参照）



- ・曲の分割（43ページ参照）



- ・曲の結合（43ページ参照）



- ・曲の移動（44ページ参照）
- ・プログラム曲移動（44ページ参照）

4つの編集機能を組み合わせて使用することで、様々な編集が可能になります。

編集およびタイトル入力をおこなうときは、誤録音/誤消去防止ツメをずらして孔を閉じて録音できる状態にしてください。

編集のしかた(つづき)

1 曲を消去するには

【1曲ずつ消去する】



1	停止中に本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して、消去したい曲番を表示させます。 一時停止中の曲を消去するときは、この操作は不要です。
2	イレースボタンを押して、“Track Erase?” を表示させます。
3	本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押して、曲の消去を確定します。 “Complete” が表示されます。 - 動作が完了すると停止します。 - 一時停止中は、その曲が消去されます。 - 一時停止中に曲の消去をおこなうと、消去終了後停止します。 - 曲を消去すると、消去した曲の後ろの曲番が順に前詰めした番号に変わります。

2曲以上の消去をおこなうときは、曲番の大きい方から消去すると予め消そうとした曲番を指定して消去することができます。
曲の消去を止めるときは、操作3の前にストップボタン(■ STOP)またはクリアーボタン(CLEAR)を押して、“Track Erase?” 表示を消してください。

【全曲を消去する】



1	停止中にイレースボタンを押して、“All Erase?” を表示させます。
2	本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押します。 “Erase OK?” と確認のメッセージが表示されます。
3	もう一度本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押して、すべての曲の消去を確定します。 “Complete” が表示され、その後 “Blank Disc” が表示されます。

“ALL Erase?” による消去では、全曲消去すると同時にディスク名も消去します。
全曲消去を止めるときは、操作3の前にストップボタン(■ STOP)またはクリアーボタン(CLEAR)を押して、“ALL Erase?” または “Erase OK?” 表示を消してください。

編集のしかた(つづき)

【1曲中の一部分を消去する】

留守録音 (AIR CHECK) など録音したミニディスクの不要な部分を消去するときに便利です。



1	再生中にイレースボタンを押して、“A-B Erase?”を表示させます。
2	本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押します。 ・“A Point In?”が表示されます。
3	消去をはじめる位置 (A点) で本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押します。 ・“B Point In?”が表示されます。
4	消去を終わる位置 (B点) で本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押します。 ・“Position OK?”が表示されます。 ・曲のつながりの部分を数秒間くり返し再生します。

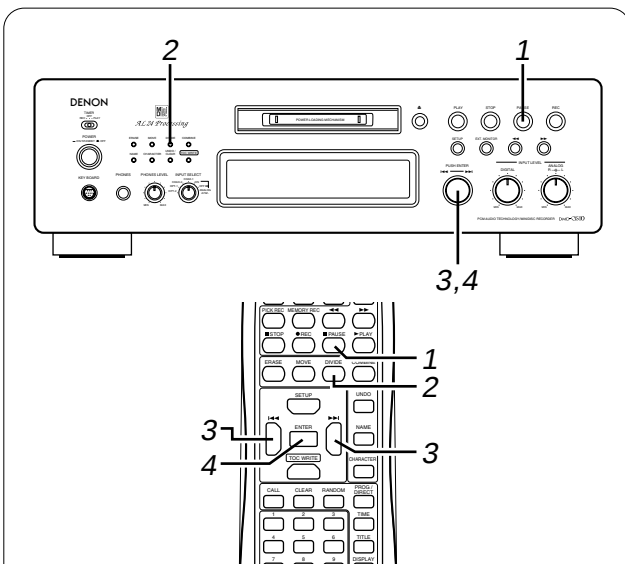
5	《A点を微調整したいとき》 本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して、A点を移動させます。 ・“A Point ±ポイント数”が表示されます。 ・微調整できる範囲は、最大-176 ~ +176ポイントまでです。(1ポイントは約0.012秒)
6	本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押して、A点を再設定します。 ・“B Point ±ポイント数”が表示されます。
7	《B点を微調整したいとき》 本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して、B点を移動させます。 ・“B Point ±ポイント数”が表示されます。 ・微調整できる範囲は、最大-176 ~ +176ポイントまでです。(1ポイントは約0.012秒)
8	本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押します。 ・“Position OK?”が表示されます。 ・曲のつながりの部分を数秒間くり返し再生します。
9	本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押して、A-B間消去を確認します。 ・“Complete”が表示されます。

1つ前の状態に戻したいときは、クリアーボタン (CLEAR) を押してください。
A-B間消去を止めるときは、操作9の前にストップボタン (■ STOP) を押してください。
くり返し再生の範囲は、A点の前4秒または曲の先頭の短い方と、B点の後4秒または曲の終わりの短い方とをくり返し再生します。
A-B間消去は、A点を指定した曲内のみで実行可能です。

編集のしかた(つづき)

2 曲を分割するには

録音後に曲を分割して曲番をつけることができます。
好きなところで曲番をつけることができ、選曲を簡単におこなうことができるようになります。

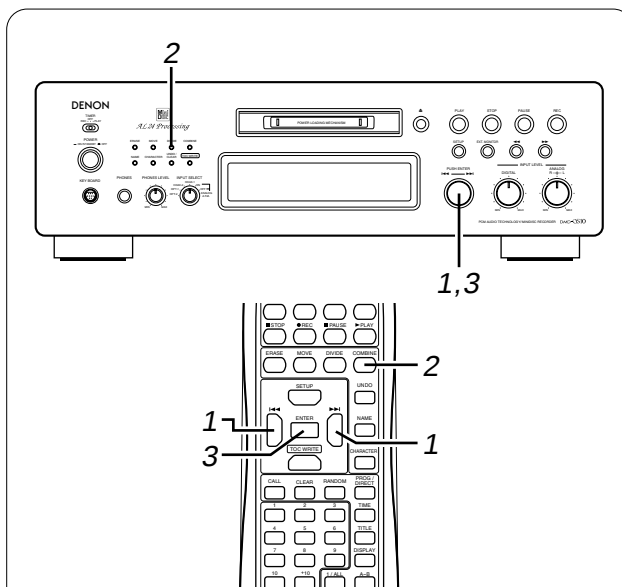


- 1 再生中に曲を分割する位置でポーズボタンを押します。
- 2 ディバイドボタンを押します。
・分割する位置から4秒間をくり返し再生し、“Position OK?”が表示されます。
- 3 《分割する位置を微調整したいとき》
本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して分割する位置を移動させ、本体のジョグダイヤルまたはエンターボタンを押してポジションを確定します。
・“Position ±ポイント数”が表示されます。
・微調整できる範囲は、最大-255 ~ +255ポイントまでです。(1ポイントは約0.012秒)
- 4 本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押して曲の分割を確定します。
・“Complete”が表示されます。
・分割完了後、後ろの曲の始まりでポーズ状態になります。

1つ前の状態に戻したいときは、クリアボタン (CLEAR) を押してください。
曲名がついている曲を分割したとき、後半の曲の曲名はなくなります。
分割した曲を元に戻すときは、「曲を結合するには」を参照してください。
曲の分割を止めるときは、操作4の前にストップボタン (■ STOP) またはクリアボタン (CLEAR) を押してください。

3 曲を結合するには

連続した2つの曲をつないで1曲にすることができます。



- 1 停止中に本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して、結合する2つの曲の曲番の大きい方を表示させます。
- 2 コンバインボタンを押します。
・結合する前の曲の最後2秒間と指定した曲の始め2秒間を数秒間くり返し再生します。
・“Combine OK?”が表示されます。
- 3 本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押して曲の結合を確定します。
・“Complete”が表示されます。
・結合完了後、結合されてできた曲の先頭で一時停止状態になります。

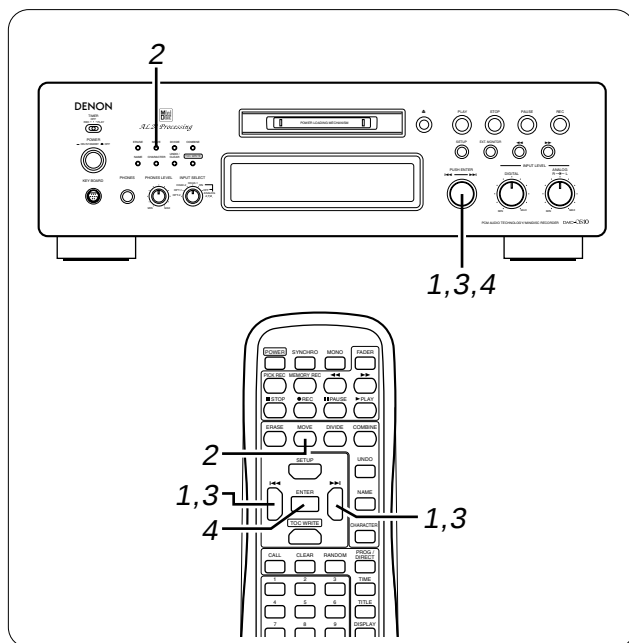
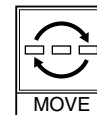
1つ前の状態に戻したいときは、クリアボタン (CLEAR) を押してください。
結合した曲を元に戻すときは、「曲を分割するには」を参照してください。
一時停止中でも曲を結合することができます。この場合、一時停止している曲とその前の曲が結合されます。曲名は結合したい2つの曲の曲番が小さい曲のものになります。
曲の結合を止めるときは、操作3の前にストップボタン (■ STOP) またはクリアボタン (CLEAR) を押してください。

ご注意

- ・デジタル入力から録音した曲とアナログ入力から録音した曲は結合できません。
- ・ステレオで録音した曲とモノラルで録音した曲は結合できません。
- ・15秒以下の短い曲では結合されないことがあります。

編集のしかた(つづき)

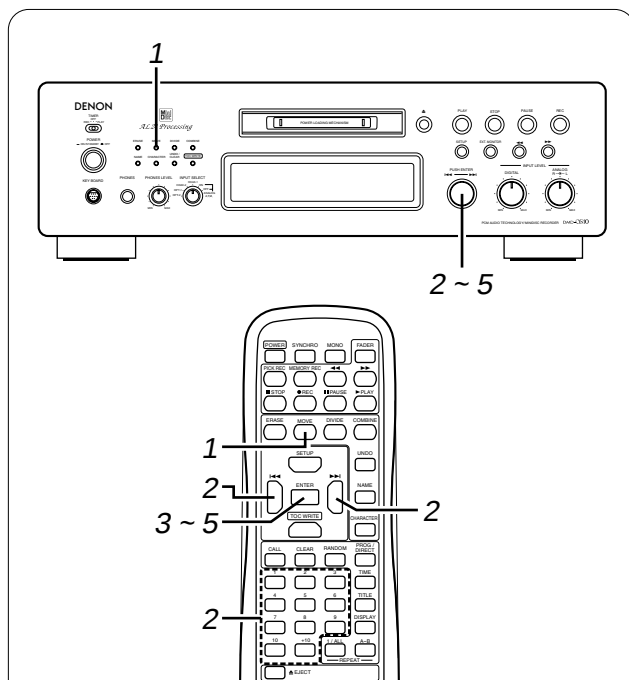
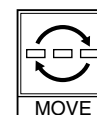
4 1曲ずつ移動するには



- 1 停止中に本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して、移動したい曲番を表示させます。
 - 2 ムーブボタンを押します。
・ “ Move ” が表示された後、“ Tr Mv Tr ” が表示されます。
 - 3 本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して、移動後の曲番を指定します。
 - 4 本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押して、曲の移動を確定します。
・ “ Complete ” が表示されます。
- 曲の移動を止めるときは、操作4の前にストップボタン(■ STOP)またはクリアーボタン(CLEAR)を押してください。

5 プログラム順に並べ替えるには

ミニディスクに録音した曲の曲番を並び替えるときに便利です。



- 3 本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押して、新たに1曲目とする曲番を確定します。
・ “ New 02 < - - Tr ” が表示され、新たに2曲目とする曲番の入力待ち状態になります。
・ 続けて曲番をプログラム移動するときには、操作2, 3をくり返しおこないます。
- 4 曲番の入力待ち中に、本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押して “ Prog. Move OK? ” を表示させます。
- 5 本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押して、曲の移動を確定します。
・ “ Complete ” が表示され、プログラムした順番に曲を移動させます。

曲番の指定は、最大25曲までできます。
操作4のときにクリアーボタン(CLEAR)を押すと、最後にプログラムした曲番から順に削除します。
操作5のときにコールボタン(CALL)を押すと、プログラムした内容が確認できます。
曲の移動を止めるときは、操作5の前にストップボタン(■ STOP)を押してください。

ご注意

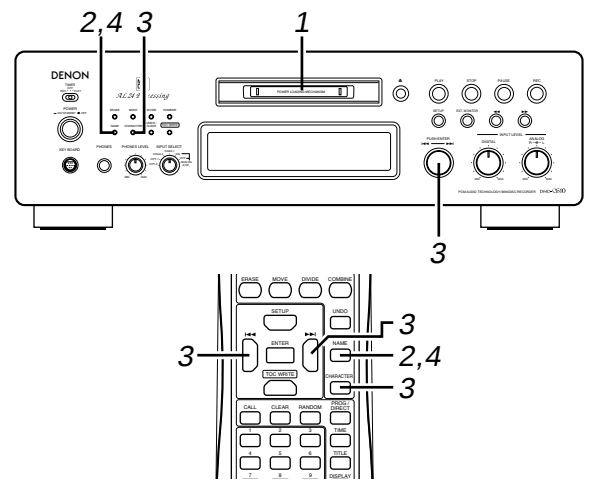
- ・ プログラムした曲以外の曲は、プログラムした曲の後ろに並べ替えられます。
- ・ 同じ曲を2回以上プログラムすることはできません。

編集のしかた(つづき)

(2) タイトルをつける

曲名、ディスク名はそれぞれ100文字まで入力することができます。

1 ディスク名をつけるには



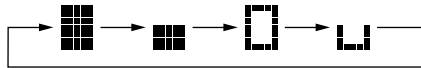
1 ディスク挿入口にディスク名をつけるミニディスクを入れます。

2 ネームボタンを押して、“Disc Name In”を表示させます。
・タイトル入力待ちを表わすカーソルが点滅します。



本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して、タイトルを入力します。
・本機で入力できても他の機種では表示されない特殊文字がありますのでご注意ください。

3  など
・キャラクターボタン (CHARACTER) を押すたびにカーソルの形が変わります。



〔カーソルの説明と表示できる文字・記号〕

3 つづき

 英大文字数字入力モード
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
XYZ0123456789

 英小文字数字入力モード
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz0123456789

 特殊文字入力モード
空白！”＃\$％＆’（）＊＋，－．／
：；＜＝＞？＠［＼＿`’{ } ~

 カタカナ文字入力モード
アイウエオカキクコサシスセソチツテトニヌナハヒフヘホミ
ムメモヤヨリルロワヅ ° ヲアイウエオヤヨツ ヿ

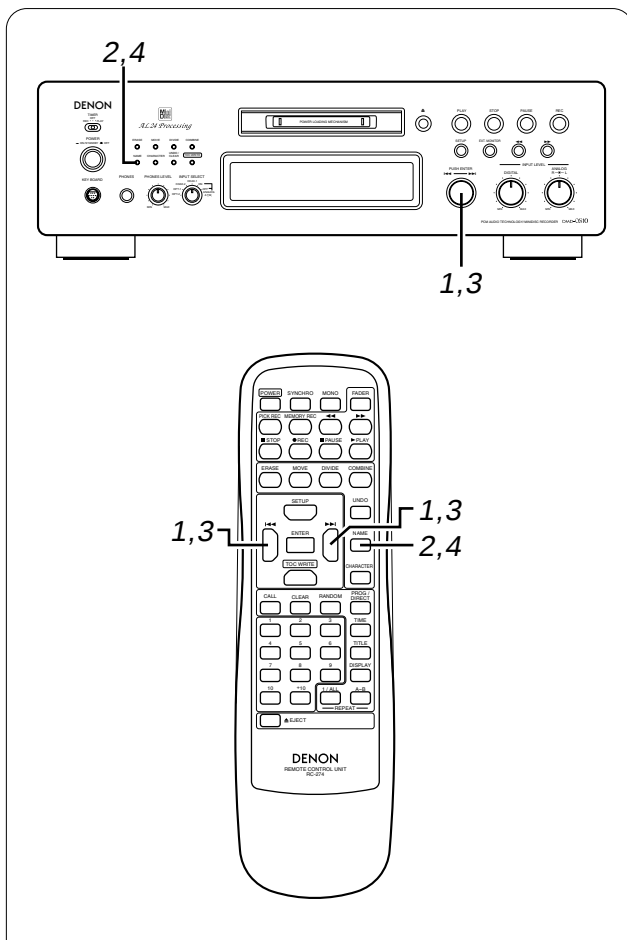
- ・濁音 (゜) または半濁音 (゜) の入力は、濁音、半濁音をつけることができる文字を前に入力したときのみ、次の文字入力で選択して入力することができます。
- ・▶▶ ボタンまたは本体のジョグダイヤル (PUSH ENTER) を押すか、リモコンのエンターボタン (ENTER) を押すと、選択した文字を確定して次の文字の入力待ち状態になります。
- ・◀◀ ボタンを押すと、カーソルを戻すことができます。入力文字を修正するときに使用します。

4 文字の入力が終了したら、ネームボタンを押して、入力したタイトルを登録します。
・登録したディスク名がスクロールします。

文字を消去するときは、消したい文字にカーソルを合わせてからクリアボタン (CLEAR) を押してください。
濁音 (゜) または半濁音 (゜) をつけた文字を消去する場合は、濁音または半濁音も合わせて消去されます。
文字を修正するときは、修正したい文字を消去してから再度文字を入力してください。

編集のしかた(つづき)

2 曲名をつけるには



1

停止中に本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して、曲番を表示させます。

2

ネームボタンを押して、“Tr. Name In”を表示させます。
・タイトル入力待ちを表わすカーソルが点滅します。

3

本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して、タイトルを入力します。

タイトルの入力のしかたは、45ページの「ディスク名をつけるには」の操作3を参照してください。

4

文字の入力が終了したら、ネームボタンを押して、入力したタイトルを登録します。

・登録した曲名がスクロールします。

再生中または録音中に曲名をつけるときは、曲が変わるまでに曲名をつけ終えてください。途中で曲が変わると、それまでに入力した文字は無効になります。録音一時停止中に入力した文字は、ストップボタン(■ STOP)を押すと無効になります。

ご注意

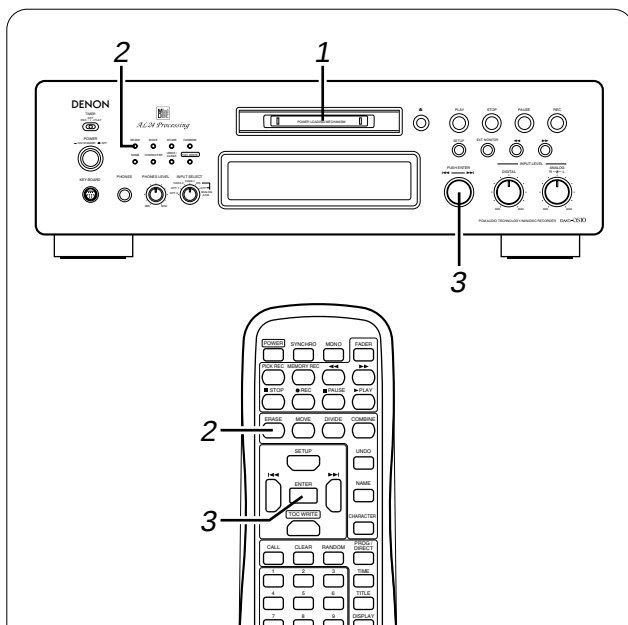
- ・本機でつけたカタカナのタイトルは、カタカナ入力に対応していない他の機器では正しく表示されません。また一部のカタカナ入力対応機器では、正しく表示されない場合があります。
- ・ディスク名と曲名はそれぞれ100文字まで入力することができます。100文字を超えるとディスプレイに“Name Full”が表示されます。
- ・他のミニディスクレコーダーで100文字以上入力したミニディスクに本機でタイトル入力の操作をおこなうと100文字を超える文字は消去されます。
- ・ディスク名と曲名を合わせて約1700文字まで入力できます。文字数を超えると、ディスプレイに“Name Full”が表示されます。
- ・カタカナは、1文字当たりのデータ量が多いため、入力できる文字数が英数字にくらべて少なくなります。
- ・本機では漢字による文字入力はできません。また、他の機器で漢字入力したミニディスクを使用した場合、正しく表示されません。

編集のしかた(つづき)

(3) タイトルを消去する

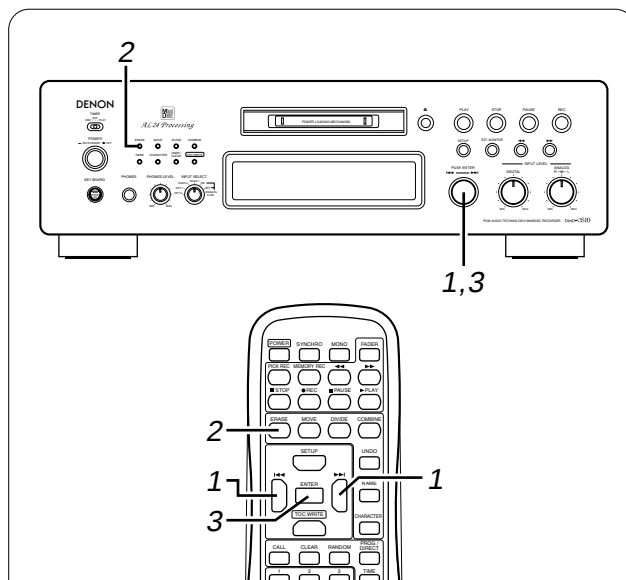
曲名、ディスク名を変更したいときや消去したいときに便利です。

1 ディスク名を消去するには



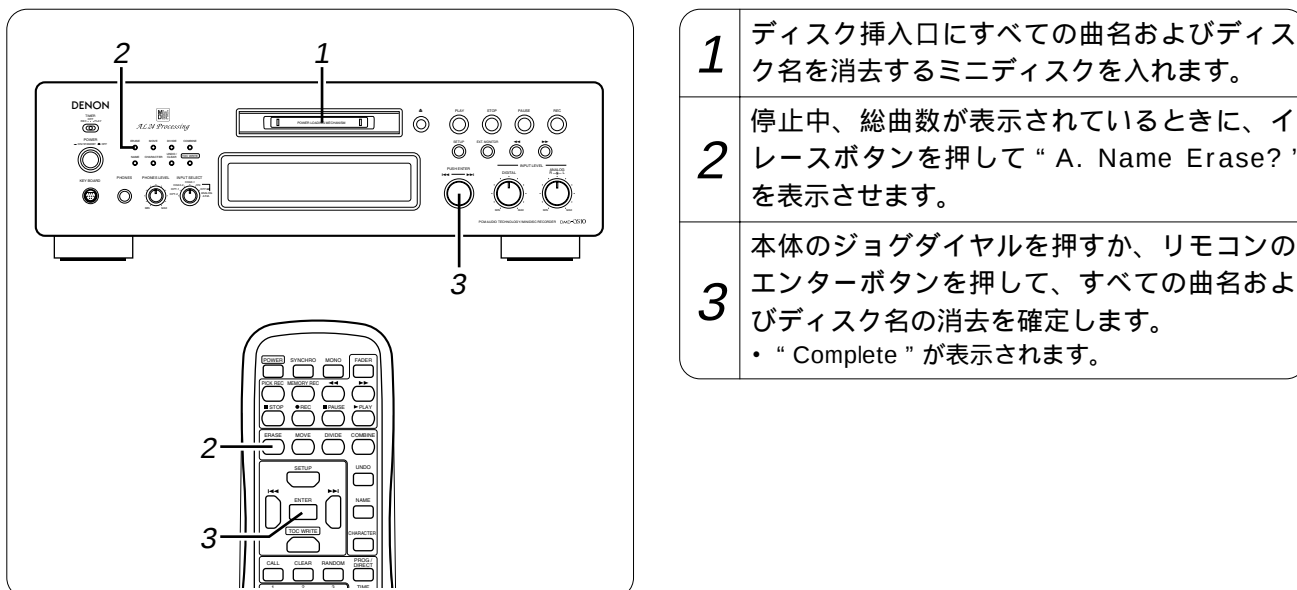
1	ディスク挿入口にディスク名を消去するミニディスクを入れます。
2	停止中、総曲数が表示されているときに、イレースボタンを押して“D. Name Erase?”を表示させます。
3	本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押して、ディスク名の消去を確定します。 ・“Complete”が表示されます。

2 曲名を消去するには



1	停止中に本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して、消去する曲番を表示させます。
2	消去する曲番が表示されているときに、イレースボタンを押して“T. Name Erase?”を表示させます。
3	本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押して、曲名の消去を確定します。 ・“Complete”が表示されます。

3 すべての曲名およびディスク名を消去するには



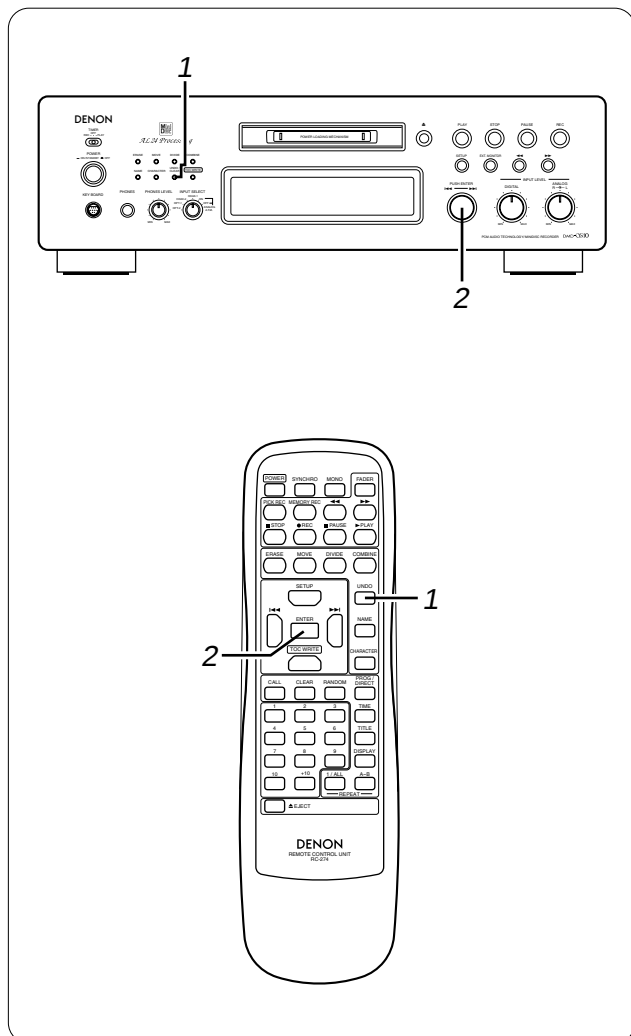
1	ディスク挿入口にすべての曲名およびディスク名を消去するミニディスクを入れます。
2	停止中、総曲数が表示されているときに、イレースボタンを押して“A. Name Erase?”を表示させます。
3	本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押して、すべての曲名およびディスク名の消去を確定します。 ・“Complete”が表示されます。

編集のしかた(つづき)

(4) 最後におこなった編集内容を取り消す

アンドゥ
『UNDO機能』

最後におこなった編集内容を取り消し、その前の内容に戻すことができます。
誤って編集をおこなったときに便利です。



停止中に、本体のアンドゥ/クリアーボタン
かリモコンのアンドゥボタンを押します。

・最後におこなった編集内容に応じて、次のメッセージが表示されます。

・曲名やディスク名を入力・変更した場合

→ “Name Undo?”

・曲名、ディスク名、1曲、全曲、1曲中の一部分を消去した場合 → “Erase Undo?”

・分割した場合 → “Divide Undo?”

・結合した場合 → “Combine Undo?”

・移動、プログラム移動した場合

→ “Move Undo?”

1

・編集操作をしていないときや編集操作をしていても『UNDO』できないときは、“Impossible”が表示されます。

・つぎのようなときは、『UNDO』できません。

・TOC情報の書き替えをおこなったとき

・新たな録音をおこなったとき

・新たな編集動作に入ったとき

・停電したとき

・UNDOをおこなったとき

・停止中以外にネームを入力したとき

2

本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンの
エンターボタンを押して、編集内容の取り消しを確定します。

・ “Complete” が表示されます。

編集内容の取り消しを止めるときは、操作2の前にストップボタン (■ STOP) またはクリアーボタン (CLEAR) を押してください。

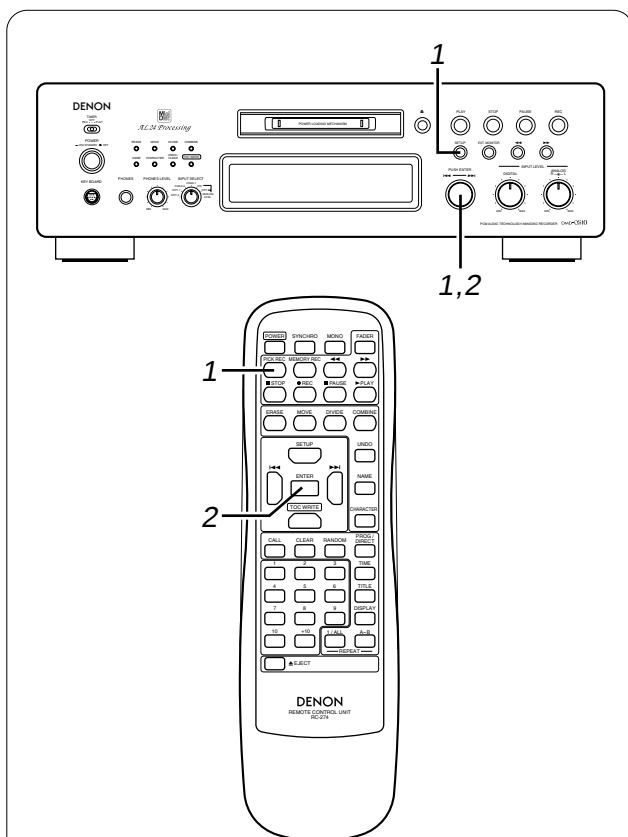
16 ピックレック機能について

ピックアップ機能は、本機をピックアップモードにすることにより、CDやチューナーなどで曲を聞きながら、曲の途中で録音操作をおこなえる機能です。

ピックアップ機能で録音できるのは、ピックアップモードにして、ピックアップをはじめたときからの内容です。曲の途中でピックアップモードにしたときは、その曲の先頭から録音することはできません。

(1) ピックレックのはじめかた

「録音のはじめかた」(33、34ページ)により、あらかじめ本機の入力、録音レベルなどを設定し、録音一時停止状態にしてから次の操作をおこなってください。



1 《本体でピックアップモードを設定する場合》
録音一時停止中にセットアップボタンを押し、ジョグダイヤルを回して“Pick Rec Go?”を表示させ、ジョグダイヤルを押して確定します。

- “PICK”表示が点灯します。
- 約2秒後、ディスプレイにはピックアップ可能時間が表示されます。ここからピックアップモードになり、ピックアップ可能時間がなくなるまで、以下の操作が可能です。

《リモコンでピックアップモードを設定する場合》

1 録音一時停止中にピックアップボタンを押します。

- 本体でピックアップモードを設定したときと同じ状態になります。

2 《ピックアップ中の曲番を録音したいとき》
その曲番の再生が終わるまでに、本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押します。

- “PICK”表示が点滅し、ミュージックカレンダーの曲番が点灯してその曲番を録音します。
- 曲番が変わると“PICK”表示が点灯に変わり、その曲番は録音されません。

《ピックアップ中の曲番を》

3 録音しなくともよいとき
何も操作しなければ、その曲番は録音されません。

- “PICK”表示が点灯している曲番は録音されません。

曲の途中で操作1がおこなわれたときは、その曲ははじめから録音することができません。
アナログ入力 (ANALOG A.T.M. ON) またはCDやMD以外の機器からのデジタル入力でピックアップをおこなっている場合、曲の途中でも曲番が変わる場合があります。録音したい曲番はすべて操作2をおこなってください。

操作2で、本体またはリモコンのエンターボタン (ENTER) を押した後、録音が不要になった場合は、その曲番の録音中にもう一度エンターボタン (ENTER) を押してください。“PICK”表示が点灯に変わり、ミュージックカレンダーの曲番が消灯し録音を取り消します。

ピクレック機能について(つづき)

■ ピクレック可能時間について

ピクレックをはじめてからのピクレック可能時間は、録音用ディスクの録音可能時間になります。できるだけ長時間録音できるディスクを使用するとともに、ピクレック中はディスプレイの可能時間表示を確認し、残り時間に注意してください。

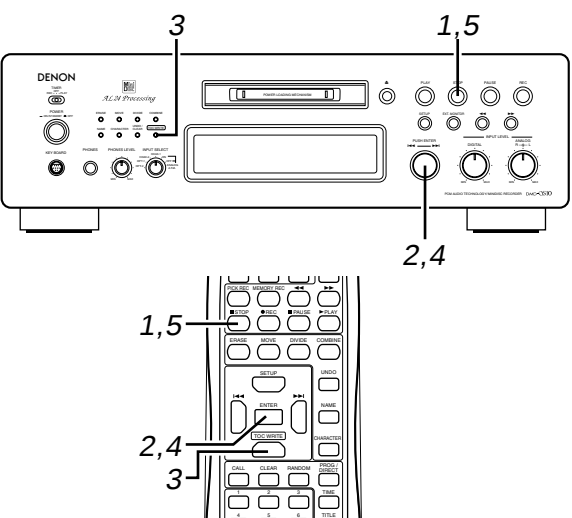
ピクレック可能時間がなくなったときには自動的に停止します。この場合は、「(2) ピクレックの止めかた」によりディスクへの書き込みを完了させてください。

また、ピクレック可能時間が残っていても、ピクレックをはじめてからの曲番が36以上になると“PICK”表示が2回点滅になります。この表示になった後は、『録音する/しない』の選択ができませんので一度ピクレックを止めて、ディスクへの書き込みを完了させ、再度ピクレックをはじめてください。

ご注意

- 本機が停止状態でも録音可能なディスクが入っている場合は、ピクレックボタン(PICK REC)を押すと約2秒後にはじまります。
この場合は、録音したい曲を再生する2秒以上前にピクレックボタン(PICK REC)を押してください。
- ミュージックカレンダーの点灯は20曲までですが、21曲目以降もピクレックは可能です。
- ピクレックモードになるとシンクロ録音モードは解除されます。

(2) ピクレックの止めかた



1	ストップボタンを押します。 • 録音が停止し、“PICK”表示が消灯します。 • “P. Rec OK?”が表示されます。 ピクレック可能時間がなくなったときには自動的に停止し、“P. Rec OK?”が表示されます。
2	《録音する曲の選択がうまくいったとき》 本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押します。 • “P. Rec Edit”が表示されます。 • ピクレック中にエンターボタンを押して、『録音する』を選択した曲番のみをディスク内に整理します。 • この表示の間は、別の操作をおこなわないでください。記録された内容が損なわれたり、正しく記録されない場合があります。 • 『録音する』を選択した曲が順番に並び換えられ、ミュージックカレンダーの曲番が点灯します。

3

トックライトボタンを押して、“TOC Write OK?”を表示させます。

4

本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押して、TOC情報を書き込みます。

- 書き込みをはじめると“TOC”表示が点滅しますので、このとき本機に振動を与えたり、本体の電源ボタン(POWER)を押したり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。記録した内容が損なわれたり、正しく記録されないことがあります。
- TOC情報の書き込みは、イジェクトボタン(EJECT)を押してミニディスクを排出するか、リモコンの電源ボタン(POWER)を押して、電源をスタンバイ状態にする操作でもおこなうことができます。

5

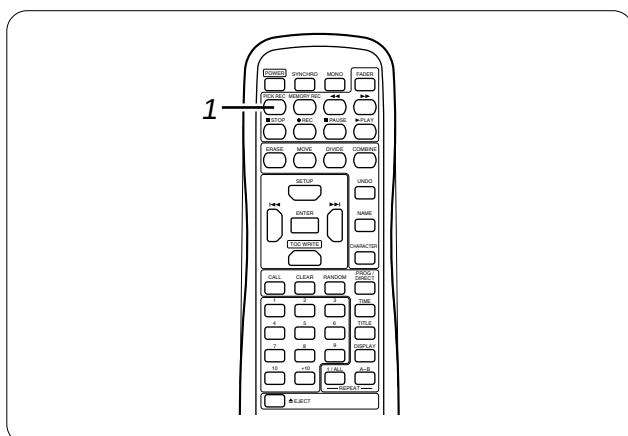
《 録音する曲の選択がうまくできなかったとき 》
ストップボタンを押します。

- “P. Rec Cancel”が表示されます。
- ピクレックをはじめてから再生された曲番すべてがディスクに記録されます。ミュージックカレンダーの曲番が点灯します。

ピクレック中にリモコンの電源ボタン(POWER)でスタンバイ状態にした場合は、ピクレックをはじめてから再生された曲すべてがディスクに記録されます。ピクレックをはじめてから数秒で止めた場合でも、“P. Rec OK?”という表示が出ますが、1曲も録音されていないことがあります。

ピックレック機能について(つづき)

(3) ピックレックを中断して、通常録音するとき



1

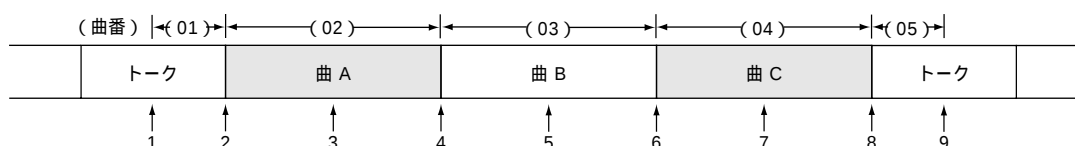
- リモコンのピックレックボタンを押します。
- “PICK”表示が消灯し、ピックレックモードが解除され、ミュージックカレンダーの曲番が点灯します。
 - 再生されている曲の録音は継続しておこなわれます。

2

- これで、通常録音状態になります。
- ピックレックをはじめてから再生された曲は、エンターボタンの入力に関わらず、すべて録音されます。
 - 通常録音を止めるときは、35ページの「録音の止めかた」を参照してください。

(4) ピックレックの使用例

音楽番組をピックレックする例を説明します。(ブランクディスクを使用)



1

- 49ページの操作1をおこなって、ピックレックをはじめます。(曲番：01)
- “PICK”表示が点灯します。

2

- 曲番が変わります。(曲番：02)
- “PICK”表示は点灯のままです。

3

- 《曲Aは録音したい!》
- 本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押します。
-
- “PICK”表示は点滅になり、ミュージックカレンダーの“2”が点灯します。

4

- 曲番が変わります。(曲番：03)
- “PICK”表示は点灯に変わります。

5

- 《曲Bは録音しなくてよい》
- 何も操作は不要です。
- “PICK”表示は点灯のままです。

6

- 曲番が変わります。(曲番：04)
- “PICK”表示は点灯のままです。

7

- 《曲Cは録音したい!》
- 本体のジョグダイヤルを押すか、リモコンのエンターボタンを押します。
-
- “PICK”表示は点滅に変わり、ミュージックカレンダーの“4”が点灯します。

8

- 曲番が変わります。(曲番：05)
- “PICK”表示は点灯に変わります。

9

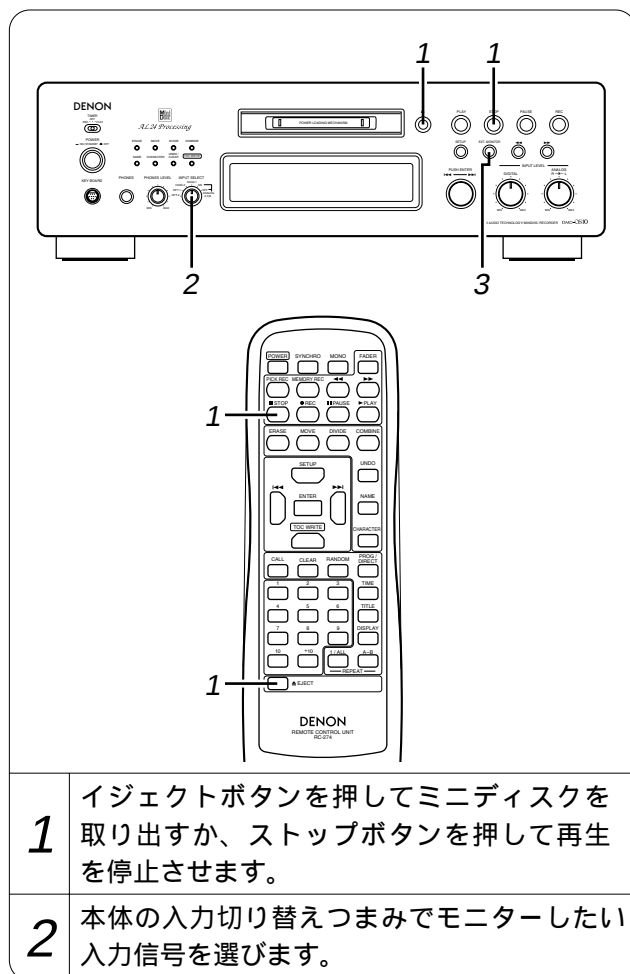
- 曲の放送が終了したので、50ページの操作1～4をおこなってピックレックを止めます。
- ディスクには、曲Aと曲Cだけが録音されます。
 - 曲番は曲Aが01、曲Bが02に編集され、ミュージックカレンダーは“1 2”が点灯します。

ご注意

- アナログ入力 (ANALOG A.T.M. ON) またはCDやMD以外の機器からのデジタル入力の場合、操作2、4、6、8のところで約2秒以上無音部がないと自動的に曲番が変わりません。
この場合、本体またはリモコンのプレイボタンを(▶)押し曲番を切り替えるか、ピックレック終了後、50ページの「(2) ピックレックの止めかた」の操作5で完了させてから、43ページの「曲を分割するには」、41ページの「曲を消去するには」を参照して分割と消去をおこなってください。
- 録音終了後は、一旦トックライトボタン (TOC WRITE) 押しTOC情報をディスクに書き込ませてから、再び編集動作をおこなってください。
- TOC情報の書き込みは、イジェクトボタン (▲) を押しディスクを排出する操作と、リモコンの電源ボタン (POWER) を押し電源をスタンバイ状態にする操作でもおこなわれます。
- 書き込みを始めると “TOC” 表示が点滅しますので、このとき本機に振動を与えたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。録音や編集された内容が損なわれたり、正しく記録されないことがあります。

17 外部入力モニターのしかた

各入力端子に入力されている外部入力信号を各出力端子でモニターすることができます。



1

イジェクトボタンを押してミニディスクを取り出すか、ストップボタンを押して再生を停止させます。

2

本体の入力切り替えつまみでモニターしたい入力信号を選びます。

3

本体の外部入力モニターボタンを押します。

- 入力切り替えつまみ (INPUT SELECT) をデジタル (COAX-1、COAX-2、OPT-1、OPT-2) に設定している場合は、デジタル録音レベル調整つまみ (DIGITAL INPUT LEVEL) の設定値が約2秒間表示されます。
- “Ext. Monitor” が表示され、選択した入力信号を各出力端子に出力します。
- デジタル入力信号を選択した場合は、“Ext. Monitor” およびサンプリング周波数表示部にデジタル入力信号のサンプリング周波数を、アナログ入力信号を選択した場合は “Ext. Analog” が表示されます。
- デジタル入力信号を選択して “Ext. Monitor” が表示され、“D.IN” 表示が点滅しているときにはデジタル入力信号のロックが外れています。このような場合は、8～9ページの「接続のしかた」を参照して接続を確認してください。
- デジタル入力信号およびアナログ入力信号のレベルは、録音レベル調整つまみ (INPUT LEVEL) で可変できます。

外部入力モニターを止めるときは、もう一度外部入力モニターボタン (EXT. MONITOR) を押してください。また、外部入力モニター状態のときに再生をはじめるなど他の操作をおこなっても外部入力モニターを止めることができます。

サンプリング周波数96kHzの信号をモニター中は、レベルメーターおよびデジタルボリュームははたらきません。

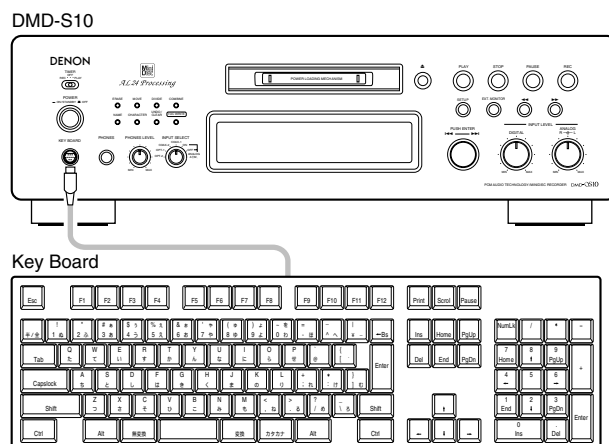
18 キーボードの接続と操作

キーボードの接続

IBM PC互換のキーボードを接続して、キーボードよりDMD-S10をコントロールすることができます。

- 接続できるキーボード
IBM 106キーボード
(コネクター：6ピン小型DIN PS/2タイプ)
- 対応コード
SCAN CODE SET 02

キーボードの接続は、電源を切っておこなってください。誤動作の原因となります。

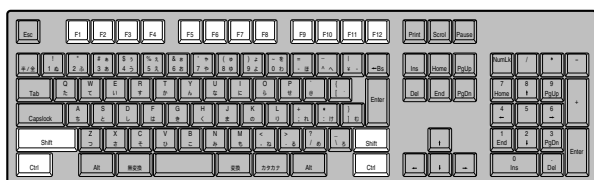


注) 本体の電源を切ってから接続してください。

キーボードの操作

キーボードの各キーは、本体パネル上の各操作に割り当てられています。また本体の動作モードによって、キーの機能が替わります。

【 F1 ~ F12 キーの機能】



- | | |
|-----|--------------------------|
| F1 | “ SYNCHRO ” ボタンになります。 |
| F2 | “ MONO ” ボタンになります。 |
| F3 | “ PICK REC ” ボタンになります。 |
| F4 | “ MEMORY REC ” ボタンになります。 |
| F5 | “ STOP ” ボタンになります。 |
| F6 | “ REC ” ボタンになります。 |
| F7 | “ PAUSE ” ボタンになります。 |
| F8 | “ PLAY ” ボタンになります。 |
| F9 | “ FADER ” ボタンになります。 |
| F10 | “ TIME ” ボタンになります。 |
| F11 | “ TITLE ” ボタンになります。 |
| F12 | “ DISPLAY ” ボタンになります。 |

- **Shift** キーを押しながら **F1** ~ **F12** のキーを押すと、次の機能に替わります。

- | | |
|----|------------------|
| F1 | “ ◀◀ ” ボタンになります。 |
| F2 | “ ▶▶ ” ボタンになります。 |
| F3 | “ ◀ ” ボタンになります。 |
| F4 | “ ▶ ” ボタンになります。 |

- | | |
|-----|---------------------------|
| F5 | “ PROG/DIRECT ” ボタンになります。 |
| F6 | “ RANDOM ” ボタンになります。 |
| F7 | “ CALL ” ボタンになります。 |
| F8 | “ CLEAR ” ボタンになります。 |
| F9 | “ REPEAT ” ボタンになります。 |
| F10 | “ A-B ” ボタンになります。 |
| F11 | “ EJECT ” ボタンになります。 |
| F12 | “ POWER ” ボタンになります。 |

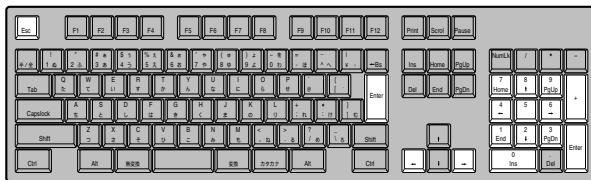
- **Ctrl** キーを押しながら **F1** ~ **F12** のキーを押すと、次の機能に替わります。

- | | |
|-----|-------------------------|
| F1 | “ ◀◀ ” ボタンになります。 |
| F2 | “ ▶▶ ” ボタンになります。 |
| F3 | “ ◀ ” ボタンになります。 |
| F4 | “ ▶ ” ボタンになります。 |
| F5 | “ ERASE ” ボタンになります。 |
| F6 | “ MOVE ” ボタンになります。 |
| F7 | “ DIVIDE ” ボタンになります。 |
| F8 | “ COMBINE ” ボタンになります。 |
| F9 | “ NAME ” ボタンになります。 |
| F10 | “ UNDO ” ボタンになります。 |
| F11 | “ TOC WRITE ” ボタンになります。 |
| F12 | “ SET UP ” ボタンになります。 |

キーボードの接続と操作 (つづき)

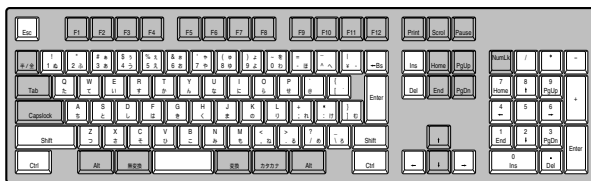
【その他のキーの機能】

1) 通常の動作モード時



- 1~9キー “1~9” ボタンになります。
- 0 “10” ボタンになります。
- + “+10” ボタンになります。
- Enter “PUSH ENTER” の動作をします。
- ESC “CLEAR” ボタンになります。
- ← “◀◀” ボタンになります。
- “▶▶” ボタンになります。

2) ネーム編集時



- アルファベット 小文字の入力をします。(Capslock OFF)
 - カタカナの入力をします。(55ページ参照)
- 数字キー 数字の入力をします。
- 記号キー 記号の入力をします。
- 10キー 数字の入力をします。
- + 記号 “+” を入力します。
- 記号 “-” を入力します。
- Ins 文字の挿入をします。
- Del 文字の削除をします。
- BS 1文字戻って削除をします。
- カーソルを右に1つ移動します。
- ← カーソルを左に1つ移動します。
- Esc ネーム入力をキャンセルします。
- Enter ネーム入力を確定 (“PUSH ENTER” の動作) します。

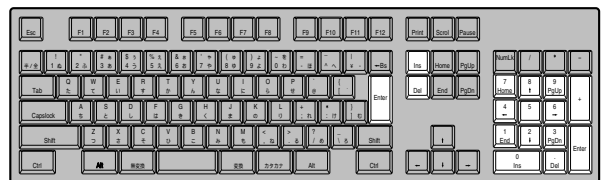
- Shift キーを押しながらキーを押すと、次の機能に替わります。

- アルファベット 大文字の入力をします。(Capslock OFF)
 - カタカナの入力をします。(55ページ参照)
- 数字キー 記号の入力をします。
- 記号キー 記号(上段)の入力をします。
- 10キー 数字の入力をします。
- Del カーソル以降の文字列を削除をします。
- カーソルを表示ウインドウの右端に移動します。
- ← カーソルを表示ウインドウの左端に移動します。

- Ctrl キーを押しながらキーを押すと、次の機能に替わります。

- Del 全文字列を削除をします。
- カーソルを最終文字に移動します。
- ← カーソルを先頭文字に移動します。

3) プログラムモード時



- 1~9キー プログラム曲の入力をします。
 - “1~9” ボタンになります。
- 0 プログラム曲の入力をします。
 - “10” ボタンになります。
- + “+10” ボタンになります。
- Ins プログラム曲の挿入をします。
- Del プログラム曲削除をします。
- Enter トラックを確定 (“PUSH ENTER” の動作) します。

キーボードの接続と操作（つづき）

カタカナの入力するには

ディスクネームやトラックネームをカタカナで付ける場合は、ローマ字で入力します。変換するローマ字の最初と最後に“^”を入力します。

例：^MINIDEISUKU^ → ミニディスク

^RATuPU^ → ラップ

- “^”と“^”の囲みの中に一つでも変換できない文字がある場合は、全体がローマ字のままになります。

例：^LATuPU^ → ^LATuPU^

- “^”と“^”の囲みの中にローマ字以外の数字、記号がある場合は、変換できない文字としては認識しませんので、その文字をそのまま表示します。

例：^RATuPU 1^ → ラップ 1

- “^”と“^”の囲みの中に入力して一度に変換できる最大文字数は“^”を含め80文字までです。既に入力してあるカタカナを編集すると80文字を超えてしまうような場合は、“^”を使って区切ってください。

ローマ字カタカナ変換テーブル

a	i	u	e	o
ア	イ	ウ	エ	オ
A	I	U	E	O
ア	イ	ウ	エ	オ
KA	KI	KU	KE	KO
カ	キ	ク	ケ	コ
SA	SI	SU	SE	SO
サ	シ	ス	セ	ソ
TA	TI	TU	TE	TO
タ	チ	ツ	テ	ト
NA	NI	NU	NE	NO
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ
HA	HI	HU	HE	HO
ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
MA	MI	MU	ME	MO
マ	ミ	ム	メ	モ
YA		YU		YO
ヤ		ユ		ヨ
RA	RI	RU	RE	RO
ラ	リ	ル	レ	ロ
WA				WO
ワ				ヲ
GA	GI	GU	GE	GO
ガ	ギ	グ	ゲ	ゴ
ZA	ZI	ZU	ZE	ZO
ザ	ジ	ズ	ゼ	ゾ
DA	DI	DU	DE	DO
ダ	ヂ	ヅ	デ	ド
BA	BI	BU	BE	BO
バ	ビ	ブ	ベ	ボ
PA	PI	PU	PE	PO
パ	ピ	プ	ペ	ポ
VU	n			
ヴ	ン			
ya	yu	yo	tu	
ヤ	ユ	ヨ	ツ	

19 メッセージについて

お使いになられているときの使用状況によりメッセージが表示されます。
メッセージの内容は下記の通りです。

《 メッセージ表示 》	《 メッセージの内容 》
TOC Reading	TOCを読み込んでいます。
Blank Disc	何も録音されていないミニディスクが入っています。
Complete	編集が完了しました。
Copy Prohibit	SCMS (シリアルコピー・マネージメント・システム) により、デジタルコピー禁止のソースです。
Dig. Unlock	デジタル入力録音時にデジタル入力端子の接続が不完全なため、または他の障害により入力信号が正常に入力されていません。
Disc Err R	ミニディスクに傷がついているため、データが読めません。または、TOCがミニディスクに書き込まれていないか、データに異常があります。
Disc Full	ミニディスクの残り時間がなくなりました。 曲数が254曲を超えてしまいました。
Impossible	実行できない操作をおこなっています。
No Name	タイトル文字入力がされていません。
No Track	ディスク名はありますが、曲が入っていません。
Playback Only	再生専用ミニディスクに録音や編集の操作をおこなっています。
Protected	ミニディスクが誤録音/誤消去防止状態になっています。
Name Full	ディスク名/曲名が100文字を超えています。 または、ディスク名および曲名として入力した文字の合計が約1700文字を超えています。
Tr. Protected	編集できない曲です。
Disc ?	データに異常があります。あるいは規格外のミニディスクです。
TOC Err R	ミニディスクに傷がついているため、TOC情報が読めません。 あるいは、規格外のミニディスクです。
Can't REC	ショックやミニディスクの傷で正しく録音できませんでした。
Temp Over	温度が高く(低く)なりすぎました。本機の動作範囲は10～35℃です。 この動作範囲でご使用ください。
Mech Error	ミニディスクが正しく動いていません。
Not Audio	オーディオ用でないデータが記録されています。
UTOC U Err	ショックやミニディスクの傷でTOC情報が正しく作成できませんでした。
UTOC Err R	記録されているTOC情報がミニディスクの規格に合っていないか、他の障害により読むことができません。

20 ミニディスクの規格上の制約について

ミニディスクの規格は、カセットデッキなどの従来の録音方式と異なる方式でおこなわれます。そのためいくつかの規格上の制約があります。次のような現象が出ても故障ではありませんので、ご了承ください。

(1) 曲数の制約

- ・何も録音されていないミニディスクやディスク名だけ記録されていて何も録音されていないミニディスクに1曲目から順次録音した場合は、最大254曲まで録音できます。しかし、編集を多くくり返したりすると254曲まで録音できなくなることがあります。

(2) 録音機能の制約

- ・ミニディスクの最大録音時間に達しなくても、曲数が254曲になると録音できません。
- ・録音は約2秒単位でおこなわれます。それに満たない部分でも約2秒間分のディスクスペースを使用しますので、実際に録音できる時間は短くなります。
- ・ミニディスクに傷があるとその部分は録音できませんので、その分の時間が減ります。
- ・CDをデジタル録音するとき、CDの録音内容により数秒程度の無音部ができることがあり、曲数がCDと異なることがあります。
- ・『ANALOG A.T.M. ON』で自動的にトラックマーキングをおこなった場合、録音するものの内容によって曲番が正確につかないことがあります。
- ・短い曲を消去しても、ミニディスクの残り時間が増えないことがあります。これはミニディスクの残り時間を表示するとき、12秒以下の部分を無視するためです。

(3) 編集機能の制約

- ・編集をおこなってできた短い曲を結合できない場合があります。
- ・録音や編集をくり返したミニディスクでは、マニュアルサーチ中に音が途切れることがあります。

21 保証とサービスについて

- 1 この商品には保証書が添付されております。
保証書は所定事項をお買い上げ販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。
- 2 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
保証書の記載内容により、お買い上げ販売店または最寄りの当社営業所（コロムビアサービス網一覧表参照）が修理を申し受けます。（但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となります。）その他詳細につきましては、保証書をご覧ください。
- 3 保証期間後の修理については、お買い上げ販売店または最寄りの当社営業所にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
- 4 本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。
- 5 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げ販売店または最寄りの当社営業所にご相談ください。
- 6 本製品の故障、誤動作または不具合により、録音、再生などの機会を逸したために発生した損害などの付随的損害の補償については当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

故障？ と思っても、もう一度確かめてみましょう

- 各接続は正しいですか
- 取扱説明書に従って正しく操作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きとり、お買い上げ販売店または最寄りの当社営業所にご連絡ください。

現 象	原 因	処 置	関連ページ
操作できない。	・ミニディスクが入っていますか。 ・ミニディスクが損傷または汚れていませんか。	・ミニディスクを入れてください。 ・他のミニディスクと取り替えてください。	27 —
再生できない。	・接続が間違っていないですか。 ・ミニディスクに録音されていますか。 （“ Blank Disc ” または “ No Track ” が表示されます。）	・接続を確認してください。 ・録音されているミニディスクと取り替えてください。	8、9 56
録音できない。	・ミニディスクが録音防止状態になっていませんか。（“ Protected ” が表示されます。） ・ミニディスクの残り時間がありますか。 （“ Disc Full ” が表示されます。） ・254曲収録されたミニディスクに録音しようとしていませんか。 （“ Disc Full ” が表示されます。） ・デジタル入力録音したソースをデジタル入力録音しようとしていませんか。 （SCMS参照） （“ Copy Prohibit ” が表示されます。） ・入力切り替えつまみ（INPUT SELECT）の設定が間違っていないですか。 ・録音レベル調整つまみ（INPUT LEVEL）が絞られていませんか。	・ミニディスクの誤録音/誤消去防止ツメをずらして、孔を閉じた状態にしてください。 ・ミニディスクを入れ替えてください。 不要な部分があれば消去して録音時間を確保してください。 ・ミニディスクを入れ替えてください。 不要な曲があれば消去して録音曲数を確保してください。 ・アナログ入力録音で録音してください。 ・入力切り替えつまみ（INPUT SELECT）を確認してください。 ・録音レベル調整つまみ（INPUT LEVEL）を調整してください。	19、56 56 56 20、56 33、34 33、34

23 主な仕様

■ 形	式	ミニディスク デジタル オーディオシステム
ワウ・フラッター		測定限界 (±0.001% W.Peak) 以下
標 本 化 周 波 数		44.1kHz
録 音 方 式		磁界変調オーバーライト方式
光	源	半導体
S	N	比
ダイナミックレンジ		110dB
電	源	105dB
消 費 電 力		AC100V 50/60Hz
最 大 外 形 寸 法		28W (電気用品取締法による)
質	量	434 (幅) × 135 (高さ) × 354 (奥行き) mm (フット、ツマミ、端子を含む)
		13.0kg
■ リモコンユニット		RC-274
リ モ コ ン 方 式		赤外線パルス式
ボ タ ン 数		45ボタン
電	源	DC3V 単3形乾電池2本使用
最 大 外 形 寸 法		68 (幅) × 233 (高さ) × 20 (奥行き) mm
質	量	160g (乾電池を含む)

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

本機は国内仕様です。

必ずAC100Vのコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V以外の電源には絶対に接続しないでください。



ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

お問い合わせ先

(社) 私的録音補償金管理協会

TEL : 03 (5353) 0336

日本コロムビア株式会社

本 社 〒107-8011 東京都港区赤坂4-14-14
TEL : (03) 3584-8111 (大代表)

後日のために記入しておいてください。

購 入 店 名 :	電 話 (- -)
-----------	----------------------------

ご購入年月日 :	年	月	日
----------	---	---	---